

2019年8月28日
大阪府議会2025年大阪・関西万博推進特別委員会

大阪・関西万博の開催に向けた取組み

EXPO
2025
OSAKA, KANSAI, JAPAN2019年8月
大阪府政策企画部万博協力室

〔本日の内容〕

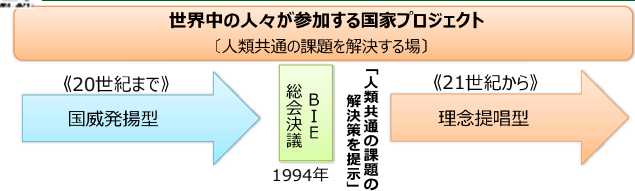
- 1 国際博覧会について
- 2 大阪・関西万博の概要
- 3 万博開催の意義
- 4 これまでの誘致活動
- 5 開催に向けた現在の取組み

2

1 国際博覧会について

EXPO
2025
OSAKA, KANSAI, JAPAN

1-1 万博の推移



国際博覧会条約に基づく2種類の国際博覧会	
登録博覧会	認定博覧会
【大規模博覧会】 ・5年に1回開催 ・期間は6か月以内 【国内での開催実績（旧一般博）】 ・大阪万博（1970） ・愛知万博（2005）	【小規模博覧会】 ・2回の登録博の間に1回開催 ・期間は3か月以内 【国内での開催実績（旧特別博）】 ・沖縄国際海洋博覧会（1975） ・国際科学技術博覧会（1985） ・国際花と緑の博覧会（1990）

※ 1996年以前は「一般博」と「特別博」に区分されていたが現在は「登録博」と「認定博」に区分されている。

4

EXPO
2025
OSAKA, KANSAI, JAPAN

1-2 過去の国際博覧会とそのテーマ

●当初は国威発揚や殖産興業がテーマの中心であったが、1994年BIE総会において「人類共通の課題の解決策を提示」が決議され、21世紀に入り、地球的課題と人類社会の持続的な発展がテーマの中心に。

開催年	BIE分類	開催国	名称	テーマ
1851		イギリス	ロンドン万国博覧会	
1853		アメリカ	ニューヨーク万国産業博覧会	
1855		フランス	パリ万国博覧会	
1867		フランス	パリ万国博覧会	
1876		アメリカ	フィラデルフィア万国博覧会	
1889		フランス	パリ万国博覧会	
1893		アメリカ	シカゴ万国博覧会	
1897		オーストリア	ウィーン万国博覧会	
1904		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1906		日本	日本万国博覧会（大阪万博）	人類の進歩と調和
1910		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1912		スウェーデン	ストックホルム万国博覧会	
1913		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1917		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1922		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1925		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1928		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1932		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1937		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1939		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1947		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1954		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1958		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1962		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1967		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1970		日本	大阪万国博覧会	人類の進歩と調和
1974		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1976		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1978		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1982		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1984		アメリカ	セントルイス万国博覧会	
1985		日本	国際科学技術博覧会（つくば博）	人類、居住、環境と科学技術
1986		カナダ	バンクーバー国際交通博覧会	動く世界、動く未来
1988		オーストラリア	ブリスベン国際ショー博覧会	技術と文化のショー
1990		（日本）	（国際花と緑の博覧会）	（花と緑と人類生活のかかわりを探る、21世紀に向けて思いのある豊かな社会の創生を目指す。）
1992		スウェーデン	ストックホルム万国博覧会	人類の進歩と調和
1993		韓国	大田（G20）国際博覧会	発展のための新しい道への挑戦
1998		ドイツ	ハンノイ万国博覧会	人類の進歩と調和
2000		トルコ	イスタンブール万国博覧会	人類の進歩と調和
2005		日本	2005年日本国際博覧会（愛知万博）	自然の循環
2008		スペイン	サラゴサ国際博覧会	水・都市の持続可能な発展
2010		中国	上海国際博覧会	より良い生活、より良い未来
2012		韓国	釜山（G20）国際博覧会	未来の社会、未来の未来
2015		イタリア	ミラノ国際博覧会	地球に食料を、生命にエネルギーを
2017		カタール	ドバイ国際博覧会	未来のエネルギー
2020		アラブ首長国連邦	ドバイ国際博覧会	心をつなぐ、未来を創る
2023		アルゼンチン	ブエノスアイレス国際博覧会	人類発展への科学、革新、芸術、創造性

5

EXPO
2025
OSAKA, KANSAI, JAPAN

1-3 日本における国際博覧会

	1970年	1975年	1985年	1990年	2005年
名称	大阪万博	沖縄海洋博	つくば博	大阪国芸博（花博）	愛知万博（愛・地球博）
区分	登録博（一般博）	認定博（特別博）	認定博（特別博）	認定博（特別博）	登録博
テーマ	人類の進歩と調和	海—その望ましい未来	人間・居住・環境と科学技術	—	自然の叡智
来場者数	約6400万人	約350万人	約2000万人	約2300万人	約2200万人
参加国等	76か国 4国際機関	36か国 3国際機関	47か国 37国際機関	82か国 55国際機関	121か国 4国際機関

⇒ 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）は、大規模な「登録博覧会」

6

2 大阪・関西万博の概要

EXPO
2025
OSAKA, KANSAI, JAPAN

2-1 大阪・関西万博のテーマ

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン
「Designing Future Society for Our Lives」

サブテーマ

- ◆多様で心身ともに健康な生き方
- ◆持続可能な社会・経済システム
- 真の豊かさを感じられる生き方、それを可能にする経済・社会の未来像を参加者で共に創る。

コンセプト

未来社会の実験場「People's Living Lab」

7

8

2-2 大阪・関西万博の概要

■名称

- ◆日本語（正式）：2025年日本国際博覧会 /（略称）：大阪・関西万博
- ◆英語：EXPO2025, OSAKA, KANSAI, JAPAN

■開催期間

2025年5月3日（土）～11月3日（月）までの185日間

■開催場所

夢洲

約155ha

■入場者（想定）

約2,800万人

■開催経費

- <会場建設費>
1,250億円（想定）
- <運営費>
820億円（想定）



資料提供：経済産業省

9

2-3 会場イメージ



資料提供：経済産業省

10

2-4 会場構想（めざす万博のイメージ）

■「待ち時間ゼロ」の万博

- ・会場内の移動時間等を活用した参加型実証実験を行うことで、体験あふれる環境を提供
- ・IoT活用により、施設の空き状況を明確化し、会場を快適に巡ることができる



■「EXPOテーマ体験」プログラム

- ・来場前にPeople's Living Labの特設サイト上のバーチャル会場で出迎える演出
- ・来場者へのオリエンテーションとガイダンスを通して、テーマやメッセージを映像や展示を中心に紹介
- ・未来社会の共創の体験ができるプログラムを実施

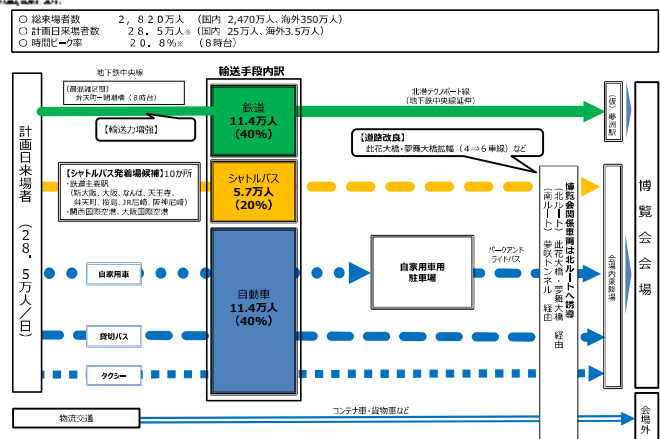
⇒「10歳若返る万博」

「健康になる万博」をめざす



11

2-5 会場へのアクセス（輸送の流れ）



12

2-6 会場へのアクセス（輸送ルート）



13

3 万博開催の意義

3-1 2025年万博開催の意義

- 万博が持つ、「圧倒的な求心力・発信力」「世界との出会いによる人の交流促進」により、イノベーションを巻き起こし、日本経済を活性化。
- 万博には世界中の叡智が結集。人類共通の課題の解決を提示。大阪・関西・日本発の技術や取組みが世界の健康長寿など様々な課題解決に貢献。SDGs（持続可能な開発目標）達成にも寄与。
- 経済波及効果は約2兆円にのぼる。2020年東京オリンピック・パラリンピック後の大阪・関西・日本の成長を牽引する起爆剤に。

15

3-2 キーワード「SDGs」

- 2015年国連サミットで、2030年までの国際目標として、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択
- 17のゴールからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」を掲げている。⇒これら課題の解決により地球上の誰もが住みやすい環境づくりを！⇒2025年時点で大阪・関西から解決策を世界に発信しよう！



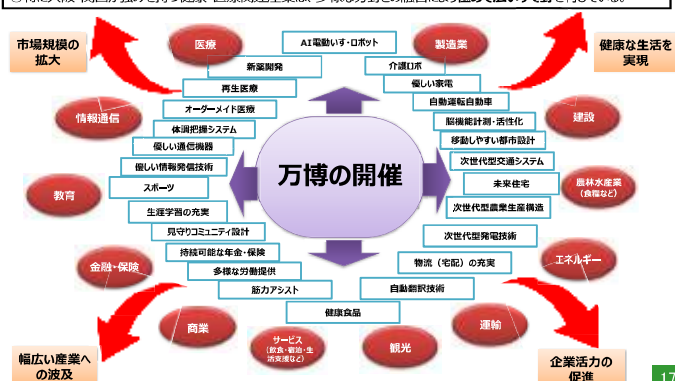
※SDGs：Sustainable Development Goals

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任、つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

16

3-3 万博開催による経済の活性化

○2020年東京初と“サ・パ・リ・タ”が続く国家プロジェクトとしての万博開催は、大阪のみならず日本の成長に資するもの。
○特に大阪・関西が強い持つ健康・医療関連産業は、多様な分野との融合により極めて広い分野を有している。



17

3-4 経済波及効果

○会場建設による投資、企業の出展などの運営に加えて、交通、宿泊、飲食、買い物などの消費支出などが相まって、経済波及効果は全国で約2兆円と試算されている。

万博の経済波及効果

(単位：兆円)

	建設費	運営費	消費支出	計
最終需要	0.2	0.2	0.7	1.1
経済波及効果	0.4	0.4	1.1	1.9

資料：2025国際博覧会検討会報告書（経産省）2017年3月

約2兆円

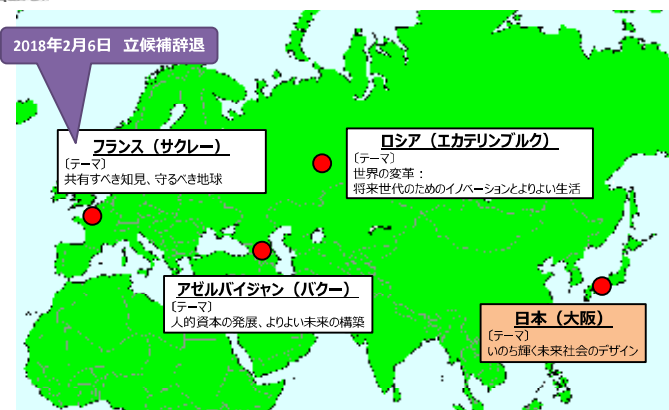
さらに、万博のコンセプト等に関わる分野での市場の伸長や企業の投資、会場外、開催期間前後の消費需要拡大、関連する大規模イベント開催等の間接的な誘発

18

4 これまでの誘致活動

19

4-1 2025年国際博覧会の立候補国



20

4-2 企業による事業協賛等の実例

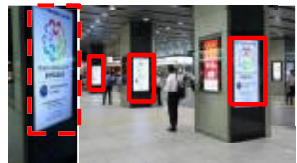
新幹線車両デッキへのステッカー貼り付け



万博ロゴラッピング航空機の就航



主要ターミナル駅でのデジタルサイネージ



万博ロゴラッピング車両の運行



21

4-3 府議会によるPR活動等

BIE調査団の歓迎（大阪府咲洲庁舎）



在阪領事館訪問



主要駅での署名活動



⇒【賛同者数】
134万人
【市町村や関係団体の決議】
◆全道府県議会における決議
◆府内全市町村における決議等
◆合計277団体

22

4-4 BIE総会における投票結果

【第1回目】 156票
◎日本 85票
◎ロシア 48票
アゼルバイジャン 23票

【決選投票】 155票
◎日本 92票
ロシア 61票
棄権 2票



BIE総会会場（oecdカンファレンスセンター）



ビューイング会場（中之島）

道頓堀

23

5 開催に向けた現在の取組み

24

EXPO 2025 5-1 2025年日本国際博覧会協会の概要

■ 名称
一般社団法人 2025年日本国際博覧会協会（公益社団法人へ移行予定）

■ 目的
2025年日本国際博覧会の準備及び開催運営等を行い、博覧会を成功させることをもって、国際連合の掲げる持続可能な開発目標の達成に貢献するとともに、わが国の産業及び文化の発展に寄与することを目的とする。

■ 設立日
2019年1月30日（事務所開設2月1日）

■ 主たる事務所の場所
大阪府茨洲庁舎43階

■ 役員構成
会長：中西 経国連会長
副会長：松本 閑経連会長、尾崎 関西商工会議所連合会会長・大商会議、池田 関西経済同友会代表幹事、立石 京商会議、家次 神商会議、三村 日商会議、櫻田 経済同友会代表幹事、吉村 大阪府知事、松井 大阪市長、井戸 関西広域連合会長
監事：小原 きつかわ法律事務所 代表弁護士、中務 中務公認会計士・税理士事務所 所長

■ 事務局体制

事務総長	総務局	（総務、広報報道、契約、経理、公益認定申請 など）
副事務総長	企画局	（登録申請書の作成、基本計画の策定 など）
	整備局	（会場整備計画、交通対策 など）
	国際局	（BIE総会、BIE加盟国との調整 など）

※人員：国・大阪府・大阪市・経済界より職員を派遣。職員数：105名（2019年8月現在）

EXPO 2025 5-3 今後の主な課題

①登録申請文書の提出（2020年5月期限）
②参加国の招請（2020年6月以降）
③開催費用の確保
④観客輸送の計画、関連公共事業の実施
⑤2025年に向けた機運の盛り上げ

等

目次

1. 国際博覧会について	3
2. 2025年国際博覧会の立候補国について	9
3. 誘致体制について	13
4. 「2025日本万国博覧会誘致戦略」について	16
（1）海外誘致活動の取組み	19
（2）国内機運醸成の取組み	27
5. 誘致に向けた課題と取組みの方向性	40

1-1 国際博覧会とは

● 国際博覧会条約（以下「条約」という。）に基づき、複数の国が参加して行われる博覧会のこと。

● 博覧会は、大規模な博覧会（登録博覧会）と、2つの登録博覧会の間に開催される博覧会（認定博覧会）の2種類がある。

● 条約に基づき、国際機関である博覧会国際事務局（BIE:Bureau International des Expositions 本部はパリ）が設立されている。

● 万博の目的は20世紀までは「国威発揚型」であったが、1994年BIE総会において「人類共通の課題の解決策を提示」が決議され、21世紀からは理念提唱型とされている。

登録博と認定博

	登録博覧会	認定博覧会
開催期間	6週間以上6か月以内	3週間以上3か月以内
会場規模	制限なし	25ヘクタール以内
開催時期	5の倍数の年ごと	2つの登録博覧会の間で1回

※これら2種類以外に、モナコ（イタリア）で5年毎に開催されるリエンナーレ及び国際園芸博覧会も条約上の国際博覧会と位置づけられている

EXPO 2025 5-2 最近の主な動きと今後のスケジュール

＜最近の動き＞

2019年	1月30日	（一社）2025年日本国際博覧会協会設立
	4月19日	万博特准法の成立
	5月15日	博覧会協会の臨時社員総会・理事会で理事、事務総長、副事務総長選任
	5月28日	BIE（博覧会国際事務局）総会で、進捗状況報告
	5月31日	国が博覧会協会を、特准法に基づき準備・運営法人として指定
	6月27日～29日	G20大阪サミット会場「大阪・関西魅力発信スペース」等において、大阪・関西万博のPR活動を展開

＜今後のスケジュール＞

年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
スケジュール	11/23 開催国決定	11月末 一般社団法人博覧会協会設立 12月 公益社団法人へ移行 年内 登録申請書の提出・自署 6月 BIE総会（登録の承認） 秋頃 基本計画の策定 10月～ ドバイ（登録博） （登録4月まで） 正式な参加招請の開始 会場整備計画の検討 法令手続 実施設計 会場建設工事					1月～4月 ブエノスアイレス博（認定博）	5月～11月 万博開催

2017年10月24日
大阪府議会2025年国際博覧会誘致特別委員会

資料1

2025年国際博覧会の大阪誘致に向けた取組みについて

OSAKA-KANSAI/JAPAN EXPO2025
World Expo 2025 Candidate

政策企画部
万博誘致推進室

1. 国際博覧会について

1-2 過去の国際博覧会とそのテーマ

● 当初は国威発揚や殖産興業であったが、1994年BIE総会において「人類共通の課題の解決策を提示」が決議され、21世紀に入り、地球的課題と人類社会の持続的な発展がテーマの中心に。

開催年	BIE分類	開催国	名称	テーマ
1851	登録博	イギリス	ロンドン万国博覧会	
1853	登録博	アメリカ	ニューヨーク万国産業博覧会	
1855	登録博	フランス	パリ万国博覧会	
1876	登録博	フランス	パリ万国博覧会	
1889	登録博	フランス	パリ万国博覧会	「現代生活の中の芸術と技術」
1893	登録博	日本	日本万国博覧会（大阪万博）	人類の進歩と調和
1894	登録博	アメリカ	セントルイス万国博覧会	進歩なき未来
1897-1898	登録博	日本	沖縄国際海洋博覧会	海—その望ましい未来
1904	登録博	アメリカ	セントルイス万国博覧会	エネルギー—世界の原動力
1905	登録博	日本	東京国際博覧会（つくば博）	河の世界—人間の源
1906	登録博	カナダ	バンクーバー万国博覧会	人類、自然、技術
1908	登録博	オーストラリア	メルボルン万国博覧会	動く世界、ふれあう世界
1909	登録博	（日本）	（国際花と緑の博覧会）	技術時代のレジメ
1910	登録博	スペイン	セビリア万国博覧会	（花と緑と人間生活のかかわりを捉え、21世紀へ向けて新しいものから社会の創造を目指す。）
1912	登録博	イタリア	ジェノヴァ万国博覧会	花と緑と人間の生活のかかわりを捉え、21世紀へ向けて新しいものから社会の創造を目指す。
1913	登録博	韓国	大田（ソウル）万国博覧会	発展のための新しい道への挑戦
1918	登録博	ポルトガル	リスボン万国博覧会	海洋—未来への道
2000	登録博	ドイツ	ハンノイ万国博覧会	人間・自然・技術
2005	登録博	日本	2005年日本国際博覧会（愛知万博）	自然の恵み
2008	認定博	スペイン	サラゴサ万国博覧会	水・都市の持続可能な開発
2010	認定博	中国	上海万国博覧会	より豊かな生活
2012	認定博	韓国	釜山（大邱）万国博覧会	生きている海と息づく沿岸
2015	認定博	イタリア	ミラノ万国博覧会	地球に豊かさを、生にエネルギー
2017	認定博	オーストラリア	アースタ万国博覧会	未来のエネルギー
2020	認定博	アラブ首長国連邦	ドバイ万国博覧会	心をつなぎ、未来を創る

1-3 日本は1970年大阪万博以来、5つの国際博覧会を開催

国際博覧会の開催は、日本の魅力を世界に発信する絶好の機会。開催地のみならず、日本を訪れる観光客が増大し、地域経済が活性化する「起爆剤」になる。

	1970年	1975年	1985年	1990年	2005年
名称	大阪万博	沖縄海洋博	つくば博	大阪園芸博	愛・地球博
区分 ※1	一般博	特別博	特別博	特別博 (園芸博)	一般博
テーマ	人類の進歩と 調和	海－その望ま しい未来	人間・居住・環 境と科学技術	－	自然の叡智
来場者数	約6400万人	約350万人	約2000万人	約2300万人	約2200万人
参加国等	76か国 4国際機関	36か国 3国際機関	47か国 37国際機関	82か国 55国際機関	121か国 4国際機関

※1 1996年に現在の「登録博」と「認定博」に区分。それ以前は「一般博」と「特別博」に区分されていた。

1-4 博覽會國際事務局 (BIE:Bureau International des Expositions)

- 国際博覧会条約（以下「条約」という。）（1928年署名）に基づき、国際機関である博覧会国際事務局（BIE: Bureau International des Expositions）が設置されている。
- 本部はパリ。
- BIEは、博覧会主催国の選出、博覧会開催の監督を実施。
- 条約加盟国は170（2017年10月現在）。
- 総会議長はクリステンセン氏（デンマーク出身）、事務局長はロセルタレス氏（スペイン出身）。
- BIEの各国政府代表は、条約上、各国3人まで任命することができる。
- 日本政府代表は、内閣により3人（在仏日本大使館の次席公使など）が任命されている。
- 投票は1国1票である。

1-5 B I E加盟国と万博開催地決定ルール

■BIE加盟國

[illegible]

■開催地決定ルール

- ・ 加盟国の投票（1回1票）による。
- ・ 1か国が2/3以上の支持を集めれば開催地に決定。
- ・ 最多得票数が2/3以上の支持を獲得できない場合、最下位の国を落として投票を繰り返す。
- ・ 残り2か国になったところで、過半数の支持を集めれば開催地に決定。

2. 2025年国際博覧会の立候補国について

2-1 2025年国際博覧会の立候補国



2-1 2025年国際博覧会の立候補国

国名	都市名	開催期間	テーマ	参考
フランス	パリ 郊外 サクレ	5月1日～ 10月31日	共有すべき知見、守るべき地球 (Sharing our Knowledge, Caring for our Planet)	・パリは過去6回開催。前回には193年開催。 ・パリは2024夏季オリンピック開催決定。
日本	夢洲（大 阪市）	5月3日～ 11月3日	いのち輝く未来社会のデザイン (Designing Future Society for Our Lives)	・日本開催は2005年愛知以来。 ・大阪開催は、1990年国際花と緑の博覧会（特別博）以来。 ⇒資料2 ビッド・ドシエ参照
ロシア	エカテリ ンブルグ	5月2日～ 11月2日	世界の変革：将来世代のための イノベーションとよりよい生活 (Changing the World: Innovations and Better Life for Future Generations)	・ロシアは過去開催実績無し。 ・エカテリンブルグはスウェードロフスク州の州都でウラル地域の工業・文化の中心。人口約140万人 ・エカテリンブルグは2020年万博に立候補したが決戦投票でドバイに敗れる。
アゼルバ イジャン	バクー	5月10日～ 11月10日	人的資本の発展、よりよい未来 の構築 (Developing human capital, building a better future)	・アゼルバイジャンは過去開催実績無し。 ・バクーはアゼルバイジャン共和国の首都で人口約200万人。 ・バクーは2020夏季オリンピックに立候補したが敗れる。

資料：BIEホームページ、地誌情報等をもとに、万博誘致推進室で作成。

2-2 2025年国際博覧会の決定までのスケジュール

時期	内容
2017年9月25日	BIE事務局へ開催申請文書(ビッドソシエ)提出
2017年11月15日	BIE総会(第2回プレゼンテーション)
2018年1～3月頃 (予定)	BIE調査団の来日 ※BIE調査団は、候補国を順次訪問予定
2018年6月	BIE総会(調査団報告書をもとに、執行委員会が各立候補国を次回11月総会における投票に進めさせてよいかが否かについて勧告を出し、総会において採決。第3回プレゼンテーション。)
2018年11月	BIE総会(最終プレゼンテーション後、投票で開催国を決定)

3. 誘致体制について

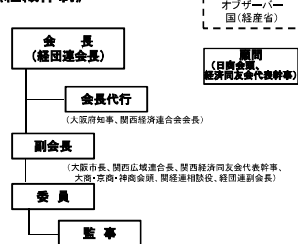
3-1 2025日本万国博覧会誘致委員会

■ 誘致委員会とは・・・誘致活動を推進する官民連携の全国（オールジャパン）組織
（会長）榊原経団連会長
（設立）2017年3月27日
（会員）設立当初、55企業・団体、60行政機関、山中教授など27名（※当初）

《主な活動》

- ① BIE総会でのプレゼンテーション
加盟国に対するロビー活動
・ BIE総会でのプレゼンで大阪・関西の魅力をアピール
・ あらゆる機会を捉えた海外プロモーション活動
- ② 国内の誘致機運醸成
・ 著名人による情報発信
・ HPやSNS等の活用
・ 万博誘致ロゴマークを用いたPR
・ 誘致アンバサダー
・ 各種イベント
- ③ BIE事務局・加盟国の視察のアテンド
・ BIE事務局や影響力のある加盟国の視察団をアテンド
・ 好印象を与える雰囲気作りの演出（シティドレッシングなど）

《組織体制》



14

3-2 国等との役割分担

＜役割分担の考え方＞

- ① 国（外務省・経済産業省をはじめとする関係省庁）、誘致委員会（自治体、経済界）が一体となって誘致活動を展開
・ 国、自治体、経済界がそれぞれの役割や強みを活かし、三位一体で効果的に支持要請を行う。
（役割分担例）
国………【国を代表する立場】 日本での万博開催意義・内容、開催コンセプトを各国に伝え、支持拡大を目指す
自治体……【地元開催地を代表する立場】 大阪・関西での万博開催意義、地域の魅力をアピール、ホストシティとしての熱意を示す
経済界……【民間での活動を代表する立場】 今回の万博のテーマに基づく課題解決のための具体的な技術支援の提示、民間の有する様々なチャンネルを通じたプロモーション活動を行う
- ② 協力していただけるセクターとは積極的に連携し、効果的にプロモーション活動を進める
・ 国際的な活動を行う財団や協会、N G Oに加えて誘致に前向きな自治体、議会など、さまざまな団体と積極的に連携し、あらゆる角度からB I E加盟国に対して、働きかけを行う。

15

4. 「2025日本万国博覧会誘致戦略」について

16

4-1 誘致委員会「2025日本万国博覧会 誘致戦略」

「2025日本万国博覧会誘致戦略」（平成29年9月 誘致委員会において策定）

- 誘致活動を取り巻く状況を踏まえて、「海外誘致」と「国内機運醸成」について、今後取り組むべき戦略を打ち立て、各主体と共有することによって、誘致活動を総合的、かつ効果的・効率的に推進する。

誘致活動の基本方針

- ① 海外誘致活動
・ BIE加盟国のうち、より多くの国が日本、大阪・関西を支持してくれることを目指す。
そのため、国と連携しつつ、自治体、経済界なども、あらゆるチャンネルを活かすとともに、国際会議などの機会を効果的に活用し、万博開催テーマの意義や、日本、大阪・関西の魅力について、理解を求め、支持を働きかける。
- ② 国内機運醸成
・ 日本が立候補 4 国の中で、最も国内機運が醸成されていることを目指し、できるだけ数値等で国内外に示す。
⇒他国を圧倒する機運醸成に向け、自治体、経済界の主体的な取り組みを広げ、会員数や賛意を示す人々を増やす。これを数値等で明示し、BIE総会、誘致委員会HP等でアピール。
⇒2018年1～3月のBIE現地調査において、国内、地元機運の高まりを調査団が体感できるように取り組む。

17

4-1 誘致委員会「2025日本万国博覧会 誘致戦略」

今後の取り組むべき方向性

この間の誘致活動を取り巻く状況をふまえ、誘致委員会では今後の取り組むべき戦略を打ち立て、各主体と共有することによって、誘致活動を総合的、かつ効果的・効率的に進めていく。

- ① 海外誘致活動
・ 4か国による誘致競争を勝ち抜くため、まずは、BIE加盟国に対し、全方向的にあらゆる外交ルート・国際会議等の機会を通じて、日本、大阪・関西のPRを実施。
・ 万博に向けて生み出される新技術等の発信を通じて、国連が掲げるSDG s（持続可能な開発目標）の実現に向け貢献していくこともアピール。
・ 国、経済界、自治体が三位一体となり、国による外交交渉のほか、議員、自治体、企業、団体等と協力し、様々なルートを活用しながらプロモーション活動に取り組む。各国の反応をふまえ、各国毎にきめ細かい働きかけを行っていく。
- ② 国内機運醸成
・ 地元大阪・関西から機運醸成の取組みを率先して進め、ひいては日本全体での機運を高めていく。
2018年1月～3月のBIE現地調査に向け、自治体、企業等と連携し、誘致委員会会員数の上積みや各自治体での決議をはじめとする国内機運醸成の取組みを展開する。
・ 各主体による自発的な取組みを基本とし、誘致委員会は各主体の取組みを促す環境づくりなど重点的に取り組む。
・ 万博のテーマである「いのち輝く未来社会」づくりの取組み等を共有することで、国内各界各層に万博の意義等の浸透を図るとともに、期待感の向上に取り組む。

18

4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

◆BIEへの立候補申請、総会の機会を捉え、BIE政府代表者、各国要人に対して万博誘致を働きかけ

【BIEへの立候補申請・BIE総会】

（ⅰ）立候補申請（4/24）の機会を捉えたプロモーション活動

プロモーション団：（国）木寺 駐仏大使、住田 経済産業省商務流通保安審議官（誘致委員会）榊原 会長、松井 会長代行 他

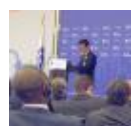
（ⅱ）総会（6/14）の機会を捉えたプロモーション活動

プロモーション団：（国）木寺 駐仏大使、住田 経済産業省商務流通保安審議官（誘致委員会）榊原 会長、松井 会長代行、松本 会長代行、吉村 副会長 他

- 各国在仏大使等に対する万博誘致の働きかけ（約30か国）

- 総会でのプレゼンテーションの実施

- ・誘致を目指す2025日本万国博覧会のコンセプトをPR（榊原会長）
・開催候補地である大阪・関西の魅力やポテンシャルをPR（松井会長代行）



19

4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

◆2017年カザフスタン アスタナで開催の国際博覧会（認定博）の開会式、ジャパンデー、開会式等においてBIE政府代表者、各国要人に対して万博誘致を働きかけ

【アスタナ国際博覧会】

（ⅰ）開会式（6/9）及び日本館開館式（6/10）等におけるプロモーション活動

プロモーション団：（国）川端 駐カザフスタン大使、小瀬 経済産業省大臣官房審議官（誘致委員会）吉村 副会長、尾崎 副会長 他

- 開会式において、プロモーション団から各国要人に対し、万博誘致を働きかけ
○日本館開館式において、万博誘致をPR
○開会式に出席した10数か国のBIE政府代表者等に対し、万博誘致を働きかけ



20

4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

【アスタナ国際博覧会】（ⅱ）カリブデー（7/14）等におけるプロモーション活動

プロモーション団：（国）川端 駐カザフスタン大使（自治体）新井 大阪府副知事（誘致委員会）鈴木 副会長、樺（いずのき） 事務総長 他

- 7月14日のアスタナ博「カリブデー」にあわせ、政府要人等が会場を訪れる機会を捉えた、万博誘致の働きかけ

- 約10か国のパビリオンを訪問し、万博誘致を働きかけ



21

4-2 海外誘致活動 (①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR)

【アスタナ国際博覧会】(iii) ジャパンデー (7/22) 等におけるプロモーション活動

- プロモーション団：(国) 世耕 経済産業大臣、川端 駐カザフスタン大使
(誘致委員会) 松井 会長代行、松本 会長代行 他
- 7月22日のアスタナ博「ジャパンデー」の開会式典、大阪パレード及びレセプションに出席し、万博誘致をPR
- 約10か国のパビリオンを訪問し、万博誘致を働きかけ
- カザフスタン政府を表敬訪問



22

4-2 海外誘致活動 (①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR)

【アスタナ国際博覧会】(iv) 閉会式 (9/10) におけるプロモーション活動

- プロモーション団：(国) 西銘 経済産業副大臣、川端 駐カザフスタン大使 他
(自治体) 新井 大阪府副知事
(経済界) 西村 大阪商工会議所副会頭
植松 関西経済連合会国際委員会副委員長
(誘致委員会) 樺 事務総長
- 9月10日アスタナ博閉会式典の機会を捉え、万博誘致をPR
- 約10か国のパビリオンを訪問、万博誘致を働きかけ



23

4-2 海外誘致活動 (①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR)

◆TICAD(アフリカ開発会議)において、国、経済界、誘致委員会が一体となって、二か国会議、イベントを通じて働きかけ

【TICAD (アフリカ開発会議 8/24)】

- プロモーション団：(国) 河野 外務大臣、堀井 外務事務官、池上 外務省経済局政策課長
(経済界) 鴻池 大阪商工会議所常議員 (アソシエーション) 遠藤 住友電装執行役員
(誘致委員会) 吉村 副会長 他
- 二か国会議における働きかけ、TICAD関係会合サイドイベントで吉村副会長がプレゼンテーション

【南アフリカにおける誘致活動(8/25)】

- プロモーション団：(国) 池上 外務省経済局政策課長
(経済界) 鴻池 大阪商工会議所常議員 (アソシエーション) 遠藤 住友電装執行役員
(誘致委員会) 吉村 副会長
- 政府関係者、関係国の大使等に万博誘致を働きかけ



24

4-2 海外誘致活動 (② 他国の政府要人の訪日機会を捉えたPR)

◆ASEAN経済大臣会合など、他国政府要人の訪日機会を捉えて、万博誘致を働きかけ

【ASEAN経済大臣会合 (歓迎昼食会 4/8)】

- 出席者：(国) 世耕 経済産業大臣 (経済界) 西村 大阪商工会議所副会頭
(誘致委員会) 松井 会長代行、森 会長代行、吉村 副会長、蔭山 副会長 他
- 歓迎昼食会において、アジアで開催する万博の意義など、万博誘致を働きかけ



25

4-2 海外誘致活動 (③ その他主体での取組み)

◆政府、国会議員連盟等の活動に加えて、自治体等による友好交流都市や、地方議会による友好議員連盟等の議員外交により、万博誘致を推進

【その他主体での取組み】

- 政府：様々な外交ルートを活用した各国への万博誘致の働きかけ
・政務レベルでの各国政府要人への支持要請や、在外公館から先方政府への働きかけ
・各国BIE政府代表への働きかけ
・在京大使館への働きかけ (外務省幹部から在京大使等への働きかけ)
・日本に招聘した海外記者への万博開催テーマの意義等を説明・PR
- 国会議員連盟等：二国間友好議連等をはじめ議員外交の活用
・国会議員の外遊時の万博誘致の働きかけ
・二国間議連等による大使館に対する万博誘致の働きかけ (6～9月)
- 自治体等：友好交流都市及び姉妹都市、ビジネスパートナー都市等へのプロモーション
・駐日大使等の表敬訪問時の働きかけ
・在関西領事館、国際交流関係協会への働きかけ
- 地方議会：大阪府議会友好議連をはじめとする議員外交の活用
・海外からの表敬訪問時 (上海人民代表大会常務委員会 など)
・海外への友好訪問時
(関西府県議会日中友好訪問団、自民党大阪府議団のカンボジア・イギリス・フランス訪問 など)

26

4-3 国内機運醸成 (①誘致委員会による取組)

◆2017年3月27日の誘致委員会発足後、誘致活動のベースとなる取組み (ロゴマークによるPR、会員等賛同者の募集、グッズ等の配布、イベント等を実施)

- ・誘致委員会発足式典 (誘致アンバサダー「タウンダウン」による情報発信:3/27)
- ・誘致委員会HPの開設 (日英仏語対応: 4/21)
- ・万博誘致ロゴマークの選定 (6/7)、
- ・グッズの作成・配布・掲揚・販売 (ピンバッジ、ポスター、チラシ、懸垂幕、のぼり、ポロシャツ等)
- ・誘致委員会会員等賛同者の募集:
- ・小学生を対象とした万博絵画展の公募 (7/6～9/30)
- ・誘致アンバサダーに、歌舞伎俳優の中村橋治郎さん・片岡愛之助さんが就任 (9/5)



誘致委員会HP

27

4-3 国内機運醸成 (②大阪府万博誘致推進本部における取組み)

- ◆本年4月、知事を本部長とする「大阪府万博誘致推進本部」を設置
機運醸成に取り組むとともに、万博のテーマを先取りしたビジョンの本年度策定などを推進
- ◆今月、推進本部において、誘致委員会の戦略を踏まえた大阪府の取組み方針を策定
府の総力をあげて、機運醸成のための取組みを展開していくことを決定

*BIE現地調査(来年1～3月)に向けて、調査ルートなどを踏まえたシティドレッシングなどにも取り組み、地元大阪の盛り上がりや万博に向けた熱意をしっかりとアピールしていく。

【今後の大阪府としての取組み方針】 平成29年9月決定

- 府はホストシティとして、誘致委員会の中核的な役割を果たし、**地元の熱意や関西広域連合を国内に波及させていく。**
- そのため、府は、関西広域連合や各市町村と連携しながら、**関係部局の総力をあげた誘致活動を展開していく。**
- 今後、府は、各主体の取組みを促進・支援するに取組み、**誘致委員会と連携し、関係部局がそれぞれの創意工夫を凝らし、様々な機会を通じて、自発的な取組みを展開していく。**

今後の具体的な機運醸成の取組み

- 地元大阪における機運醸成に、**創意工夫をこらして取組み、府民へアピールするとともに、関係団体へ働きかける。**
- 万博のテーマである「いのち輝く未来社会」づくりの取組み等を大域から発信することで、各界各層に万博の意義等の意識を回るとともに、誘致に向けた機運を醸成する。

<取組み例>

- 「万博誘致」のものを広く周知するためのPR活動
 - ロケ撮影等を活用した万博誘致活動の推進
 - ※誘致委員会が作成する基本的な素材を活用した創意工夫によるPRツールの作成・発信、誘致委員会会員等賛同者の募集
 - (各部局のポスター、日英仏語、SNS、イベント、関係行事等の活用) など
- 万博の意義の理解促進、万博に向けた取組みに参画を促すための活動
 - ポスターの様々な機会を通じて、各界各層に万博の意義等を発信
 - 「大阪からいのち輝く未来社会」をめざすビジョンの具体化 など
- BIEによる現地調査への対応
 - シティドレッシング、ロケ撮影等の誘致機運を醸成 (ポスター、懸垂幕、バナー配置等)
 - 様々な手段により関係機関を呼び、万博絵画展応募作品の効果的な展示等を行う

28

4-3 国内機運醸成 (③大阪府議会における誘致活動の展開)

- ◆「大阪府議会における万博誘致活動の指針」を策定 (平成29年7月)
⇒大阪府議会では、大阪府、誘致委員会等との密接な連携と役割分担のもと、ネットワークを最大限に生かしながら、機運の醸成や関係国への働きかけなど、誘致実現に貢献できる活動を展開中

主な広報活動

- ◆高校生向け出前授業において「万博」の取組みについて紹介、意見交換の実施
- ◆テレビ広報、府議会だより (広報紙)、ホームページ・SNSで、「万博誘致活動」の取組みを紹介
- ◆ポスターで「万博」をPR (万博誘致ロゴを掲載) など



全国都道府県議会等への万博誘致実現に向けた支援の要請

- ◆全国都道府県議会議長会定例会で「『2025日本万国博覧会』の大阪・関西誘致に関する決議」が議決 (平成29年7月25日)
- ◆関西広域連合議会において「2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致に関する決議」が議決 (平成29年8月24日)
- ⇒13都道府県議長会議 (平成29年4月26日)、近畿2府8県議長会議 (平成29年8月30日) において、大阪府議会議長が、各府県議会における決議をはじめ、万博誘致実現に向けた支援を要請

29

4-3 国内機運醸成 (④万博誘致に向けた決議の広がり)

- ◆大阪府議会、大阪市会をはじめとする府内34市町村議会で、「2025年万博の大阪誘致に積極的に取り組む」旨を決議
- ◆関西広域連合、関西広域連合議会をはじめ、全国知事会、全国都道府県議長会などにおける決議もいただき、今後、大阪・関西から全国へと拡大に向けて取り組んでいく

大阪府・大阪市・市町村

- ・平成28年11月4日 大阪府議会 決議
- ＜府内市町村＞
- ・平成28年11月15日 大阪市会 決議
- ・平成29年5月9日 大阪府市長会 決議
- 5月16日 大阪府町村長会決議
- ・平成29年3月30日～9月29日 堺市議会 他 32市町村議会決議
- ・平成29年10月2日 大阪府町村議長会

大阪府議会・34市町村議会で決議

関西広域連合

- ・平成28年9月22日 関西広域連合 決議
- ・平成29年8月24日 関西広域連合議会決議
- ・平成29年9月28日 和歌山県議会
- ・平成29年9月28日 福井県議会
- ・平成29年10月5日 徳島県議会
- ・平成29年10月6日 神戸市会
- ・平成29年10月11日 鳥取県議会
- ・平成29年10月20日 奈良県議会

自治体・議会の連合会等による決議

- 平成29年 5月18日 近畿市長会
- 7月11日 指定都市市長会
- 7月25日 全国都道府県議長会
- 7月28日 全国知事会
- 8月4日 兵庫県町村会
- 9月20日 近畿府県町村会

30

4-3 国内機運醸成 (⑤関西広域連合における取組)

- ◆平成28年9月、関西広域連合において、「2025年日本における国際博覧会（大阪開催）」について決議
- ◆本年4月、関西広域連合において、構成府県市、誘致委員会事務局、関西観光本部事務局で構成する「2025日本万国博覧会誘致対策会議」を設置
- ◆構成府県市の広報媒体を用いたPRなど、国内機運醸成の活動を実施中
- ◆8月、関西広域連合議会が、2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致に関する決議を議決

主な国内機運醸成の活動

- (1) 万博誘致ロゴマークを活用したPR
 - 万博のテーマに関連した集客イベント等でのPR
 - 庁舎等でのチラシ・パンフの配布、ポスター掲出
- (2) 構成府県市の広報誌等の媒体を用いた周知
 - 構成府県市のPRツールの活用
 - 刊行物等へのロゴマーク掲載など
- (3) 構成府県市における誘致委員会会員拡大への協力呼びかけ
 - 構成府県市内の市町村、商工会連合会、地元商工会議所等の経済団体を中心に参加を呼びかけ
- (4) 構成府県市議会における万博誘致応援決議への協力要請

など

31

4-3 国内機運醸成

(⑥全国都道府県への協力要請・首都圏におけるプロモーション活動)

- ◆本年4月開催の2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟総会（全国都道府県東京事務所長出席）、6月開催の全国東京事務所長総会等において、全国都道府県がもつ広報ツールやイベント等を活用した国内機運醸成の取組みを要請
- ◆7月、全国知事会において、「2025年国際博覧会の誘致に関する決議」採択
- ◆8月、知事会決議を受けて、全都道府県へ誘致委員会参画及び協力を依頼

主な国内機運醸成の活動

全国的な機運醸成に先駆けて、首都圏における万博誘致PRを実施

- (1) 近畿10府県と在阪鉄道6社が共催する「関西魅力発信イベント」において、万博誘致を強力にPR（9月23日）
このほか、東京スカイツリーにおける情報発信（1～3月）などを予定
- (2) 各都道府県実施の首都圏イベントにおける情報発信

32

4-3 国内機運醸成 (⑦民間等の取組み)

- ◆民間等において、自社ツールを活用した鉄道駅等におけるPRや、民間主体のイベント等におけるPRが展開。

＜自社ツールを活用したPR＞

銀行ATM画面での誘致PR、主要駅・空港でのPRポスター等掲示、工事団いを活用した誘致PR

＜イベント等でのPR＞

天神祭、梅田ゆかた祭り、道頓堀盆踊り大会、甲子園球場等でのビジョンでのPR動画放映
2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟総会及び万博誘致セミナー



33

4-3 国内機運醸成 (⑧学生による取組み)

- ◆大学生を中心とした、ヘルスケアの課題に取り組む「inochi（いのち）学生プロジェクト」による「2025大阪万博誘致100の提言」の発表や、若者による万博検討会議の「WAKAZO（ワカゾー）」など、万博に賛同する学生による自主的な取組みが進んでいる。



2016.12 inochi学生プロジェクトからの提案



2017.8 WAKAZOの取組み

34

4-3 国内機運醸成 【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪府・府内市町村～



■誘致ロゴマーク入りポロシャツの製作

■住民向け広報紙で記事掲載（千早赤阪村）

■個人事業税納税通知封筒への誘致ロゴマーク掲載

35

4-3 国内機運醸成 【参考】これまでの具体的取組み例

■大阪まるかじりフェア（東京）



■各種イベントでのPR、パネル・ポスター掲示



中小企業向け助成金活用セミナー



建築材料・住宅設備総合展2017



私立学校展



■お台場みんなの夢大陸2017 大阪観光PRステージイベント

■教育ハンドブックへ誘致ロゴマーク掲載

36

4-3 国内機運醸成 【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪市～



本庁舎正面受付装飾

地下鉄駅デジタルサイネージ

水辺のまちあそび（水都大阪）

地下鉄駅ポスター

職員用バッジ

職員用バッジ

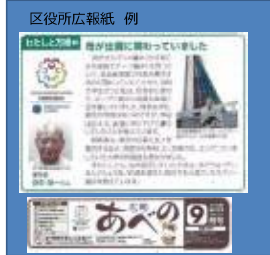
37

4-3 国内機運醸成【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪市24区役所～



各区の区民まつり



区役所広報紙 例



青バト ステッカー



パネル展示

38

4-3 国内機運醸成【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪市×民間～



梅田ゆかた祭
(協力：梅田地区エリアマネジメント実践連絡会)



道頓堀万灯祭 (協力：いつこけ三東行委員会)



梅田地区エリアマネジメント
実践連絡会・表敬訪問



工事用仮囲いへのロゴマーク掲載
(協力：阪神電気鉄道株式会社)

39

5 誘致に向けた課題と取組みの方向性

誘致活動の現時点の到達点

■海外誘致活動

- ⇒BIE訪問、アстана万博・国際会議の場、在京大使館訪問など各国に対しプロモーション実施
- ⇒大阪・関西・日本における万博開催の意義、大阪・関西の魅力を知り・PR
- ・BIE訪問：総会でのプレゼンテーション、各国駐仏大使等に対する働きかけ(約30か国)
- ・アстана国際博覧会：各国のパビリオン等を訪問し、誘致を働きかけ
- ・TICADアフリカ開発会議(7月15日)が参加：プレゼンテーション実施、二国間会談における働きかけ
- ・全在京大使館への訪問 等

■国内機運醸成

①誘致委員会委員数

	委員会発足時 (3月27日)	現状 (10月13日時点)
個人会員	27名	114,753名
企業・団体等会員	115社	3,649社
内)スポンサー企業等	44社	98社

②自治体の決議(10月15日現在)

- ・大阪府議会・市町村議会：35団体
- ・関西広域連合構成団体：8団体
- ・自治体・議会の連合会等：6団体 計 49団体

40

5 誘致に向けた課題と取組みの方向性

誘致に向けた課題と取組みの方向性

- ① 海外誘致活動
 - BIE加盟国の少なくとも過半数の支持を獲得するため、引き続き、全方位的な誘致活動を展開する必要がある。
 - 各国の反応をふまえて、国、自治体、経済界等の様々なルートを活用した働きかけを行う。
- ② 国内機運醸成
 - 誘致を勝ち取る圧倒的な機運醸成を示すためには、さらなる取組みが必要。企業・自治体や団体などあらゆる主体による一層の取組みを促進する。
 - 首都圏はじめ内外への知名度向上のため、情報発信力のある著名人の協力を得たPR活動を展開する。
- ③ BIE現地調査の受け入れ(2018年1～3月予定)
 - 大阪・関西が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする万博開催に相応しいポテンシャルを有する都市であることをアピール。
 - 機運の高まりを調査団が体感できるよう、受け入れ準備をさらに強力に展開する。
 - 賛同者数、自治体決議などの数を増やし、これを数値で明示するとともに、あらゆる主体によるシテイドレッシングなどを通じ、まち全体に機運醸成を浸透させる。

41



資料 2

ビッド・ドシエについて(概要)



2017年9月

経済産業省 博覧会推進室

ビッド・ドシエとは

◆ビッド・ドシエとは

- 立候補国がBIE事務局に提出する正式な立候補申請文書。
- BIE事務局は、開催候補地への調査団訪問を経て、評価レポートを作成。

◆主な目的

- BIEから、開催計画の実現可能性について、技術的審査を受けるための書類であり、調査ミッションの際の基礎資料となる。 ※BIE加盟各国政府にも送付される。

◆今後の主なスケジュール

2017年9月28日	ビッド・ドシエ提出期限
11月15日	BIE総会(第2回プレゼン)
2018年1～3月頃	BIE調査団来日・審査(1週間程度)
	※立候補国を順次訪問。訪問順は未定。
6月	BIE総会(第3回プレゼン)
11月	BIE総会(最終プレゼン後、投票により開催地決定)

◆記載内容(BIEより指定された14項目)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 名称、テーマ、および開催スケジュール | 8. 立地条件 |
| 2. 開催意義および期待される効果 | 9. 会場構想 |
| 3. 国内の支持 | 10. パビリオン等の配分 |
| 4. テーマとその目的 | 11. 想定される総入場者数とその客層 |
| 5. テーマの展開 | 12. 来場者と参加者のための宿泊計画 |
| 6. 組織および優遇措置等 | 13. 資金計画 |
| 7. コミュニケーション戦略 | 14. 参加費用の見込み |

1. テーマ及びコンセプト

テーマ及びコンセプト

テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン “Designing Future Society for Our Lives”
サブテーマ：①多様で心身ともに健康な生き方 ②持続可能な社会・経済システム

- ・「人」(human lives) にフォーカス。
- ・個々人がポテンシャルを発揮できる生き方と、それを支える社会の在り方を議論。
- ・国連が掲げる2030年のSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献。
- ・日本は官民挙げて「Society5.0」を推進。IoT、AI等の先端技術をフル活用して課題解決。

コンセプト：未来社会の実験場 “People’s Living Lab”

- ・展示を見るだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。
- ・開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ。

開催地：大阪、関西の魅力

- ・ライフサイエンス分野をはじめとした最先端技術と、それを支える様々な企業（中小企業含む）の集積。
- ・歴史、伝統、豊かな文化。旺盛なチャレンジ精神。

3

2. 会場計画の概要

鳥瞰図

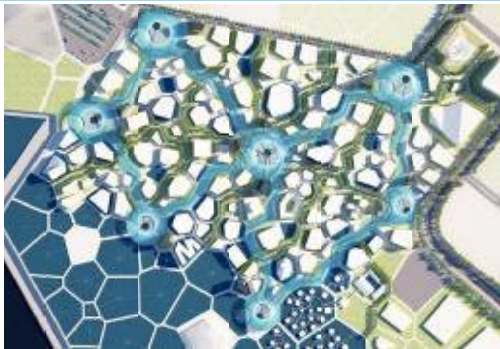
- 会場は、大阪のウォーターフロントに位置する人工島・夢洲（ゆめしま）。
- 会場面積は、155ヘクタール。（※会場中心部にパビリオン等、南側水面に水上施設等、西側緑地にアウトドア施設等をそれぞれ整備。）



5

非中心、離散型のパビリオン配置

- ポロノイパターン（※）を用いた、あえて中心をつくらない離散型の会場デザイン。個と個の関係、多様性の中から生まれる調和と共創によって形成される**未来社会を表現**。
- 2つのエントランスと5つの大広場をつなぐようにメイン通りを設置し、その上には大屋根を設置。

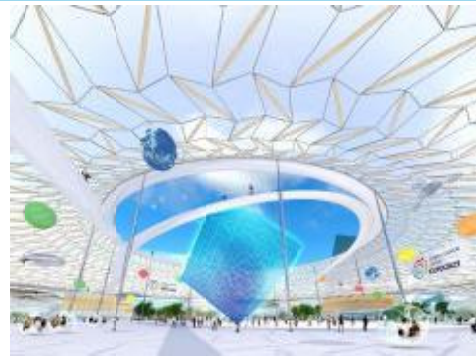


（※）ポロノイパターン：自然界に存在する基本的で反復的な幾何学パターン。有機的なつながりと成長を象徴。

6

大広場：「空」（くう）

- 会場内の5カ所に「空」（くう）と呼ばれる大広場を設置。
- A R（拡張現実）・MR（複合現実）技術を活用した展示やイベントなどを行い、来場者の交流の場とする。



7

来場者にやさしい会場

- メイン通りの間をつなぐ通りには水路や緑の並木を整備。
- 暑さ対策も行い、来場者が快適に過ごせる空間を提供。



8

鳥瞰図（南西側）

- 南西側を望む夕景の会場鳥瞰図。
- 淡路島、明石海峡大橋を背景に、美しい景観が広がる。



9

2021年1月8日
2025年大阪・関西万博推進特別委員会

2025年に開催される国際博覧会（大阪・関西万博）の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（2020年12月21日閣議決定）

<概要>

2020年12月
内閣官房国際博覧会推進本部事務局

基本方針（全体構成）

I. はじめに - 国際博覧会開催の意義 - 日本で開催された国際博覧会の成果 - 大阪・関西万博の意義 - ポストコロナの経済・社会への転換 - 運営の成功に向けた体制 - 政府のこれまでの取組 - 基本方針の策定	II. 基本的な考え方 「いのち輝く未来社会のデザイン」の具体化 - メインテーマ：いのち輝く未来社会のデザイン - サブテーマ：Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちを力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ） 「未来社会の実験場」の整備 - カーボンニュートラルを目指す上での大阪・関西万博の形 - デジタル化等を駆使した「新たな万博の形」の提示 - SDGsの達成とその先の社会ビジョン（「SDGs+ beyond」）の構築 - 次世代に誇れる遺産の創出と継承・発展 - 大阪・関西万博を通じた日本の挑戦 - 大阪・関西万博を契機とした多様な文化、価値観の重なる創出 - 復興への後押し、日本全体の祭典 - 国際社会の中で輝く日本 - 政府一体となった取組と関係機関との密接な連携の推進 - 明確なガバナンスの確立と施策の効率的・効果的な実行	III. 大阪・関西万博の円滑な準備及び運営 - 各国・国際機関の参加・出展の確保 - セキュリティや安全安心の確保 - 来場者や運営関係者の安全・円滑な輸送 - 会場の周辺インフラの整備等 - ユニバーサルデザインの考えに基づいた整備 - 環境問題への対応 - ICTシステムの構築及び活用 - 外国人来訪者の受入れのための整備 - 大阪・関西万博の機運醸成 - その他
---	---	---

1

II. 基本的な考え方

メインテーマ：いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ：Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちを力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）

「未来社会の実験場」の整備 大阪・関西万博を新たな技術やシステムを実証する場とする。	カーボンニュートラルを目指す上での大阪・関西万博の形 ・ビヨンド・ゼロを可能とする日本の革新的な技術を通して世界に向けて脱炭素社会の在り方を示していく。	デジタル化等を駆使した「新たな国際博覧会の形」の提示 ・最新の技術を活用した展示や世界の人々の参加を可能とする方法等、デジタル技術の活用手法を追求する。	SDGsの達成とその先の社会ビジョンの構築 ・2030年のSDGsの目標達成とその先（+beyond）に貢献するため、持続可能な社会、経済システムをどう構築するか、世界の人々とソリューションを共創していく。	次世代に誇れる遺産の創出と継承・発展 ・スマートなまちづくり等の有形の遺産に加え、新たな技術の実証場等、無形の遺産を創出する。
日本の挑戦 ・日本が強みをもつ様々な技術の開発・革新を加速させ、課題解決の姿をショーケース化して世界に発信する。	多様な文化、価値観の重なる創出 ・日本の伝統・文化を発信するとともに、国内外の多様な文化等が重なりあふ文化創出の場とする。	復興への後押し、日本全体の祭典 ・東日本大震災からの復興を成し遂げつつある姿を世界に発信する。	国際社会の中で輝く日本 ・日本が先頭にたち、大阪・関西万博を通して、ポストコロナの経済社会への転換等を自前し、世界・次世代を国際社会と共創していく。	

オールジャパンでの取組を推進

・科学技術・イノベーション、宇宙、海洋、健康、医療、クルシヤパンなどの分野も含め、施策を総動員
・明確なガバナンスを確立し、施策を効率的・効果的に実行

政府 博覧会協会 大阪府・大阪市、関西広域連合を中心とした地方公共団体 経済界 学界 団体 個人

2

III. 大阪・関西万博の円滑な準備及び運営

- 参加招請活動、参加支援、円滑な出入国手続などを通じた**各国・国際機関の参加・出展の確保**
- テロ対策、サイバーセキュリティ対策、防災・減災対策、感染症対策、暑さ対策、食中毒予防など、**セキュリティや安全安心の確保**
- 鉄道・道路・空路・海路などの交通インフラの強化など、**来場者や運営関係者の安全・円滑な輸送**
- 会場へのアクセス向上、地域の安全性の向上など、**会場の周辺インフラの整備等**
- ハード・ソフト両面から**ユニバーサルデザインの考えに基づいた整備**
- 再生可能エネルギーや水素の利用、分散型エネルギー資源の活用、省エネルギー・環境関連技術の活用、3 R促進など、**環境問題への対応**
- フィジカル空間とサイバー空間の融合など、**ICTシステムの構築及び活用**
- CIQ体制（税関・出入国管理・検疫体制）の人的・物的強化、多言語対応の強化など、**外国人来訪者の受入れのための整備**
- 国際会議や教育機関等の場の活用、様々な主体による大阪・関西万博と軌を一にした関連イベントなど、**あらゆる機会を通じた全国的な機運醸成**
- 寄附金付記念葉書・切手の発行、記念自動車ナンバープレートの発行、開催可能な公営競技協賛レース等の実施。

3

FUTURE SOCIETY

DESIGNING

OSAKA KANSAI
EXPO
2025

FOR
OUR LIVES

いのちを輝く未来社会をデザイン

2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）
基本計画

OSAKA KANSAI
EXPO
2025

2025年日本国際博覧会
（略称「大阪・関西万博」）
基本計画

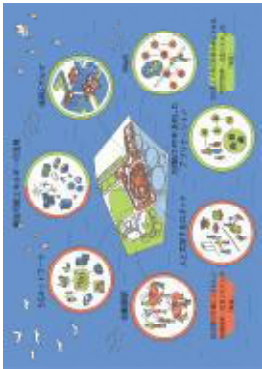
2020年12月
内閣官房国際博覧会推進特別委員会

① Digital Transformationで、世界の成長率の点に、新たなデジタル技術と活用して新たなビジネスモデルを創出し、競争に優れること。

900

2015年9月の発表で、10年経たずに開発可能な量子コンピュータによって記録された2030年までに持続可能な開発のための世界を築く目標は、**2030年までに持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)**を達成する。

906



を、その下に万の倍率事件の事例をいれ、その下に倍率を算出する。

『今昔物語集』の成立と展開

バーチャル万博

[illegible]

万博会場は部分のプログラム	会場内の展示や電通、万博会場内(部分)、展示、電通、万博会場内(部分)、展示、電通、万博会場内(部分)、展示、電通	万博会場は部分のプログラム
---------------	---	---------------

Augmented Realityの例。図表は青(一部)に底面の情報位置に合わせた軌跡。スワイプアクションやタップアクション等を利用して、カメラのズーム入力があれば図表の軸線にズームイン・アウト動作が実行される。

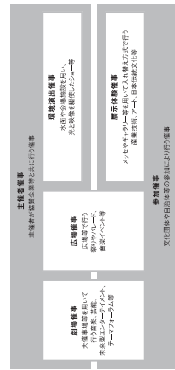
026 | 第2章 事業構成

民間バビリオン

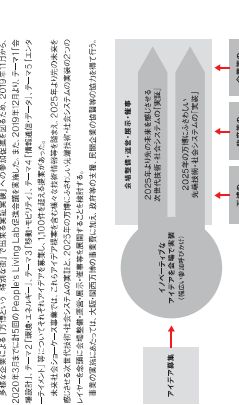
宣和

张

また、このように、 $\mathcal{H}$ の基底を $\{e_i\}_{i=1}^{\infty}$ とし、 $\mathcal{H}$ の任意の元 x を $x = \sum_{i=1}^{\infty} x_i e_i$ と表すことができる。



未来社会シミュレーション

[illegible]

024 | 第2章 事業構成

下—実践

米軍入

また協賛企業が連携して行う事業は以下の8つの事業で構成する。



[TEAM EXPO 2025」プログラム](#)

日本館

自治体等の出展(大阪館等)

本間四と本間由が連続した「本間健」のほ

022 | 第2章 事業構成

福井の野村

[illegible]

公式参加ハビリオン

●公式参加バビリオンのテーマ展開トビックス例

バージョン	種別	主な特徴	主な機能	主な利点
Google ドキュメント	クラウド型	リアルタイム共同編集 バージョン管理 オフラインモード	Google Drive Google Workspace	無料 クロスプラットフォーム 拡張機能豊富
Evernote ライブラリ	クラウド型	クロスプラットフォーム タグ付け 検索機能	Evernote Evernote Web Clipper	無料 クロスプラットフォーム 拡張機能豊富
OneNote	クラウド型	クロスプラットフォーム タグ付け 検索機能	OneNote OneNote Web Clipper	無料 クロスプラットフォーム 拡張機能豊富
Dropbox Paper	クラウド型	リアルタイム共同編集 バージョン管理 オフラインモード	Dropbox Dropbox Paper	無料 クロスプラットフォーム 拡張機能豊富
Microsoft Word	デスクトップ型	リアルタイム共同編集 バージョン管理 オフラインモード	Microsoft Word Microsoft Word Web App	有料 クロスプラットフォーム 拡張機能豊富
Apple Pages	デスクトップ型	リアルタイム共同編集 バージョン管理 オフラインモード	Apple Pages Apple Pages Web App	無料 クロスプラットフォーム 拡張機能豊富
Google Docs	クラウド型	リアルタイム共同編集 バージョン管理 オフラインモード	Google Docs Google Docs Web App	無料 クロスプラットフォーム 拡張機能豊富
Evernote	クラウド型	リアルタイム共同編集 バージョン管理 オフラインモード	Evernote Evernote Web Clipper	無料 クロスプラットフォーム 拡張機能豊富
OneNote	クラウド型	リアルタイム共同編集 バージョン管理 オフラインモード	OneNote OneNote Web Clipper	無料 クロスプラットフォーム 拡張機能豊富
Dropbox Paper	クラウド型	リアルタイム共同編集 バージョン管理 オフラインモード	Dropbox Dropbox Paper	無料 クロスプラットフォーム 拡張機能豊富
Microsoft Word	クラウド型	リアルタイム共同編集 バージョン管理 オフラインモード	Microsoft Word Microsoft Word Web App	有料 クロスプラットフォーム 拡張機能豊富
Apple Pages	クラウド型	リアルタイム共同編集 バージョン管理 オフラインモード	Apple Pages Apple Pages Web App	無料 クロスプラットフォーム 拡張機能豊富

公式行事

つ特色ある望事も組み合わせ、万博の目的であるテーマの共有と実現を図る。

[illegible]

2020 | 第2章 事業構成

図 7-1 ICT-IPFの構成と連携 情報連携共通基盤の整備 情報連携共通基盤を整備することで、各部署間の連携が円滑化され、業務効率化が図られる。また、共通基盤を整備することで、各部署間の連携が円滑化され、業務効率化が図られる。また、共通基盤を整備することで、各部署間の連携が円滑化され、業務効率化が図られる。 拡張性あるオープンな機能によるインベーションの促進 オープンな機能を提供することで、各部署間の連携が円滑化され、業務効率化が図られる。また、拡張性あるオープンな機能を提供することで、各部署間の連携が円滑化され、業務効率化が図られる。	089
---	-----

第7章 情報通信計画

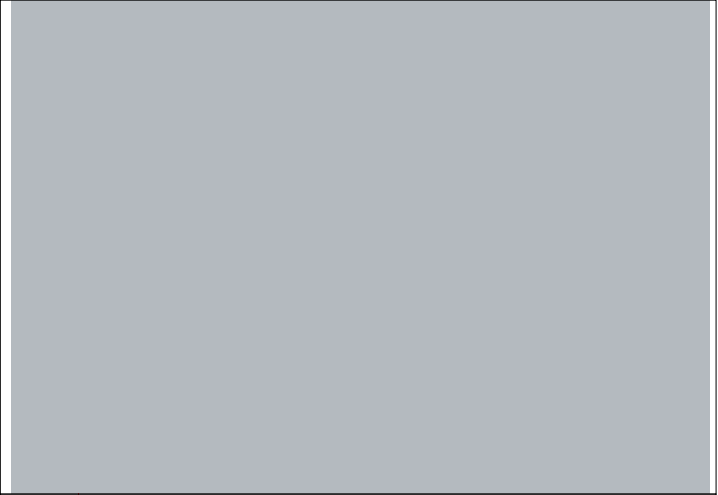
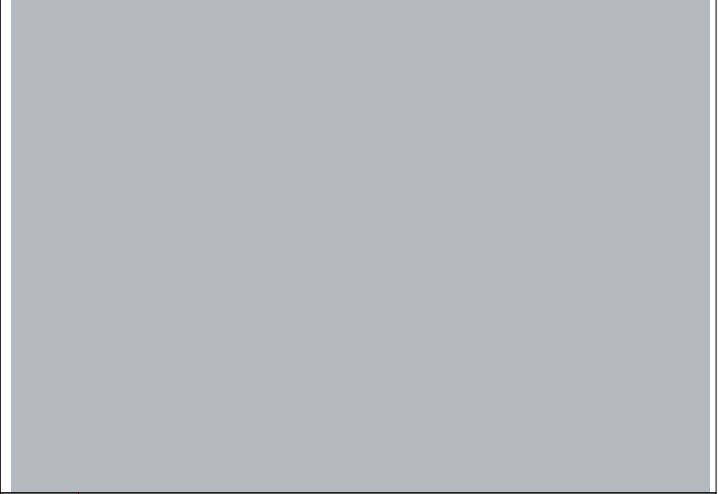
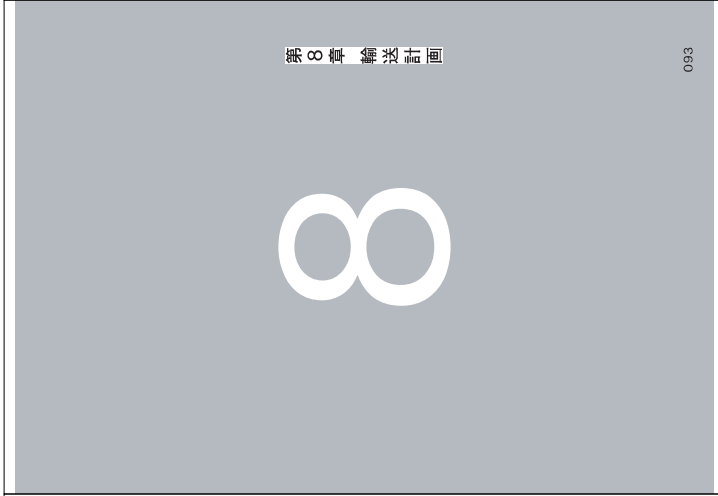
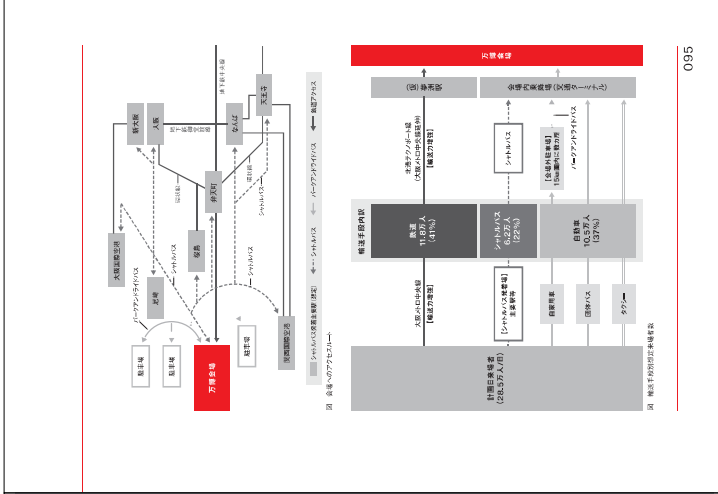
医療・救急・衛生 会場内での救急救護、急性期対応 公衆衛生・保健 清掃・ごみ管理 3Rの推進	083
---	-----

万博ICT-IPF（プラットフォーム）の整備により 実現が期待されるサービス例 万博ICT-IPFの整備により、企業・団体・個人が万博ICT-IPFを活用し、様々なサービスを実現することが期待される。 ● 万博ICT-IPFを活用した、企業・団体の業務効率化。 ● 万博ICT-IPFを活用した、個人の生活の利便性向上。 ● 万博ICT-IPFを活用した、企業の業務効率化。 ● 万博ICT-IPFを活用した、個人の生活の利便性向上。 情報通信ネットワークの整備 万博ICT-IPFの整備により、企業・団体・個人が万博ICT-IPFを活用し、様々なサービスを実現することが期待される。	080 第7章 情報通信計画
--	------------------

7.1 情報通信計画の基本方針 本計画の目的は、万博ICT-IPFの整備により、企業・団体・個人が万博ICT-IPFを活用し、様々なサービスを実現することが期待される。 実業家の利便性や快適性の向上 万博ICT-IPFの整備により、企業・団体の業務効率化が図られる。また、万博ICT-IPFの整備により、個人の生活の利便性向上が図られる。 食生活の衛生化と安全性の確保 万博ICT-IPFの整備により、企業・団体の業務効率化が図られる。また、万博ICT-IPFの整備により、個人の生活の利便性向上が図られる。 多様な参加と得られたデータの活用 万博ICT-IPFの整備により、企業・団体の業務効率化が図られる。また、万博ICT-IPFの整備により、個人の生活の利便性向上が図られる。 セキュリティの確保 万博ICT-IPFの整備により、企業・団体の業務効率化が図られる。また、万博ICT-IPFの整備により、個人の生活の利便性向上が図られる。	088 第7章 情報通信計画
---	------------------

085	084 第6章 運営計画
--	----------------

運搬・保続 会場内物入れ 保険	084 第6章 運営計画
---	----------------



大阪・関西万博の会場建設費について

政策企画部万博協力室

会場建設費（600億円増額の内訳）

約600億円

① 来場者の快適性・安全性・利便性の向上のための施設

【約320億円】

① 来場者の快適性・安全性・利便性の向上のための施設

【約320億円】

② 参加国、事業者の多様な参加を促進するための施設 【約110億円】

② 参加国、事業者の多様な参加を促進するための施設 【約110億円】

③ 大屋根の整備 【約170億円】

＜主なもの＞ ・暑さ対策のドライミスト、単独トイレ棟の整備 ・ゲート待ち来場者の雨除け、日除けのため入場ゲート屋根 ・受変電設備や情報通信設備、ポンプ設備の上屋 ・グリーンワルドの照明設備 ・会場内のサービス施設等の面談等の見直し ・ウォーターワールドの水質管理

- | |
|---|
| <p>＜主なもの＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑さ対策のドライミスト、単独トイレ棟の整備 ・ゲート待ち来場者の雨除け、日除けのため入場ゲート屋根 ・受変電設備や情報通信設備、ポンプ設備の上屋 ・グリーンワルドの照明設備 ・会場内のサービス施設等の面談等の見直し ・ウォーターワールドの水質管理 |
|---|

＜主なもの＞

- ・飲食、物販事業者の参加を促進するためのレストランやフードコート、物販施設
- ・中小企業などの参加機会を拡大するためのメッセ施設
- ・迎賓館に隣接する日本庭園

・雨除け・日除け機能及び来場者の主動線となる大屋根の設計案変更

- ＜主なもの＞
- ・飲食、物販事業者の参加を促進するためのレストランやフードコート、物販施設
 - ・中小企業などの参加機会を拡大するためのメッセ施設
 - ・迎賓館に隣接する日本庭園
- ・雨除け・日除け機能及び来場者の主動線となる大屋根の設計案変更

＜主なもの＞

- ・飲食、物販事業者の参加を促進するためのレストランやフードコート、物販施設
- ・中小企業などの参加機会を拡大するためのメッセ施設
- ・迎賓館に隣接する日本庭園

・雨除け・日除け機能及び来場者の主動線となる大屋根の設計案変更

■従前との比較

■従前との比較

	従前 (1,250億円)	見直し後 (1,850億円)
施設整備費 (パビリオン、催事施設、大屋根などの建築費用)	700億円	1,180億円
基礎インフラ整備費 (電力、ガス、上水、下水、雨水排水、通信などの施設整備費用)	550億円	670億円

■2025年大阪・関西万博 会場建設費 概算事業費

[illegible]

資料1

令和3年8月23日

大阪パビリオン出展基本計画の検討状況について

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会事務局

目次

・大阪・関西万博の開催概要	・P4
・出展場所（予定）について	・P5
・基本コンセプト・めざすもの	・P6
・出展基本計画の推進体制について	・P8
・空間構成イメージ	・P9
・外観イメージ	・P10
・展示構成イメージ	・P11
・レガシーについて	・P15
・建物鳥瞰イメージ	・P16
・建物配置図案	・P17
・建築スケジュール	・P18
・建設・運営資金について	・P19
・全体スケジュール	・P20

大阪・関西万博の開催概要（2025年日本国際博覧会基本計画より）

- 名称
2025年日本国際博覧会 /（略称「大阪・関西万博」）
- 開催期間 2025年4月13日（日曜日）～10月13日（月曜日） 184日間
- 開催場所 夢洲（大阪市臨海部）
- 来場者数（想定） 約2,820万人



図説：2025年日本国際博覧会協会

テーマ いのち輝く未来社会のデザイン
「Designing Future Society for Our Lives」

サブテーマ

- ◆Saving Lives（いのちを救う）
- ◆Empowering Lives（いのちの力を与える）
- ◆Connecting Lives（いのちをつなぐ）

コンセプト People's Living Lab（未来社会の実験場）

大阪パビリオンの出展場所（予定）について（2025年日本国際博覧会基本計画より）



図説：2025年日本国際博覧会協会

大阪パビリオンの基本コンセプト・めざすもの（2025年大阪・関西万博出展参加基本構想より）

1. 出展参加でめざすもの

- オール大阪の知恵とアイデアを結集し、「いのち」「健康」の観点から未来社会の新たな価値を創造するとともに、大阪の活力、魅力を世界の人々に伝えていく
- 世界の先頭になってSDGsの達成に貢献するため、「SDGs先進都市」の姿を明確にし、SDGs達成目標の2030年以降を見据えた取組みを世界に発信する

- 世界に貢献する大阪の姿を示す
 - 生活の質（QOL）を向上させる展示
 - SDGs達成に貢献する姿を示す
 - 未来社会のモデルを提案
- 大阪のパワーを世界に発信
 - 世界中からのアクセスを実現
 - 大阪の魅力を世界に発信

2. 出展参加の主体

～産学官民の力を結集し、オール大阪での推進体制を構築～

- 産業界・企業の力（大企業・中小企業・スタートアップ等）
- 教育・研究機関の力（大学・研究機関等）
- 自治体の力（大阪府、市町村）
- 府民・市民の力（市民団体・NPO等）

3. 出展参加のテーマ

REBORN（リボーン）

【テーマに込めた意味】

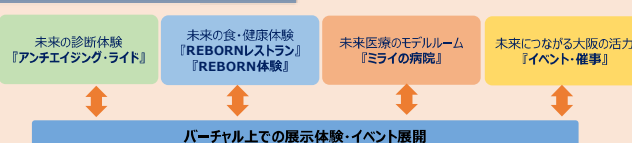
- “人”は生まれ変わる
- すべての人が自分らしい生き方を改めて見つめ直すことで、自分自身の価値観や生きがいの発見・再認識、自己実現への意欲・意欲の変革を促し、新たな自分への「生まれ変わり」に貢献する取組みを展開する
- ※新たな一歩を踏み出す
- 一人ひとりの意欲・意欲の革新が具体的な行動変容へとつながり、より良い生活環境、暮らしやすい社会づくりに貢献し、「いのち輝く未来社会」に新たな一歩を踏み出すきっかけとなる

大阪パビリオンの基本コンセプト・めざすもの

4. 大阪パビリオンのコンテンツ等の基本的考え方

- 出展参加テーマ「REBORN」のもと、「健康」という観点から、大阪の強みを活かして、ワクワクしながら明るい未来が感じられる展示や催事を実現
- ◆最先端の医療技術やライフサイエンス産業が創り出す近未来への期待を高める
- ◆食や文化、観光などによる交流を促進する場とする

5. パビリオンの基本構成イメージ



6. レガシー

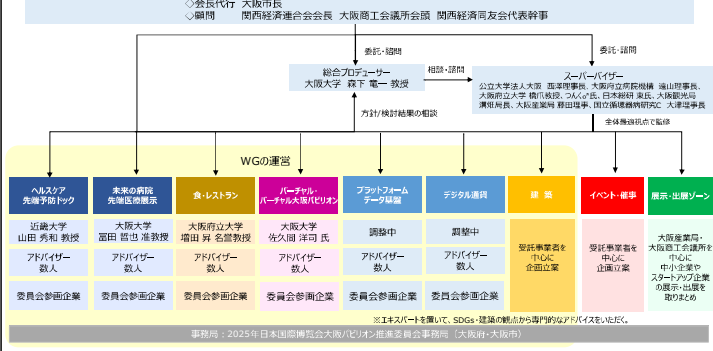
一時のイベントに終わらせることなくハード・ソフト両面でレガシーを残していくことを検討

2030年以降の『大阪の成長・経済発展』や『いのち輝く幸せな暮らし』の実現に向けて貢献

大阪パビリオン出展基本計画の推進体制について

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会（2021.2.16～）

- 会長 大阪府知事
- 会長代行 大阪市長
- 顧問 関西経済連合会会長 大阪商工会議所会理 関西経済同友会代表幹事



森下総合プロデューサーと事務局による定例会を3年4月以降隔週で実施。WGを3年6月から順次立ち上げ、WGの役割やアドバイザーへの依頼とアングについて必要に応じて実施。

WG等の検討内容を大阪パビリオン出展基本計画に反映

大阪パビリオンの概要（空間構成イメージ）

2F

REBORN レストラン

ミライの病院 Show

REBORNコンテンツゾーン

ライド回廊

1F

イベント・催事ゾーン

展示・出展ゾーン

物販・フードコート

接客スペース

ミライの医療ショールーム

アンチエイジング・ライド

エントランス

9

大阪パビリオンの概要（外観イメージ）



10

図1-1 小規模・スタートアップの展示スペースと大規模企業の展示スペースの比較

- ▶「展示・出展ゾーン」において、大阪産業局と大阪商工会議所が共同で企画・運営を担う
- ▶優れた中小企業・スタートアップを発掘し、支援し、大阪パビリオンでの象徴的な成果、活躍を効果的に発信できるように、万博の会期中だけでなく、準備期間や開催後も視野に入れた取り組みを、企画・推進する

図1-2 小規模・スタートアップの展示スペースと大規模企業の展示スペースの比較

バーチャル上での展示体験・イベント開催

3Dモデリングされた大阪の街並みとアバター体験  (画像左：文京区立総合文化センター)	バーチャルパビリオンのイメージ 
---	---

万博開館に先立ち、3Dモデリングした大阪の観光地・施設空間等のバーチャル空間等を制作・提供することにより、大阪の都市魅力を域内外に発信するとともに、万博への期待感を高めることを目指す。大規模・大企業をはじめバーチャル大阪（仮称）を構築。バーチャル大阪はもとより、大阪近郊エリアの観光地も活用できると見られ、最終会場は縁起良し、バーチャル大阪（仮称）上に開設予定。

リアル・パビリオン

バーチャル・パビリオン (Before)

ZONE ①	ZONE ②		ZONE ③
エントランス	未来の診断体験	診断結果と コンテンツ を共有する リアル・コメント	未来のケア体験
 「フューチャング」 ライブ番組に、個人・複数の 数人は参加できる会場	 「アンチエイジング ・ライフ」 ライフに専心、センシングや AIによって、生活ワークを 取得、改善		 「REBORNレストランも コンテンツ」 バーチャルメニューに基づいた ドリンクや様々な 体験コンテンツ
 「ミライの未来」 近未来に実現する医療技術 のミライをみる	 「未来の健康と未来の ライフ」 近未来に実現する医療技術 のミライをみる		 「未来の健康と未来の ライフ」 近未来に実現する医療技術 のミライをみる

バーチャル・パビリオン (After)

「未来の診断体験」や「ミライの未来」などの展示に伴い観測値が必要の場合は、スーパードットを活用して頂く

データ連携

バーチャルの事前体験で
データを蓄積し、
リアル・パビリオンで連携

バーチャル入場

バーチャル・パビリオンではリアル・パビリオンの仮想体験ができます。
また「バーチャル入場」することで、バーチャル上でのリアル・パビリオンの展示観覧やイベント、鑑賞に参加

北

警備
第2号棟

飯事・物販・レストラン

ホール
(演劇スペース)

展示

ライト塔

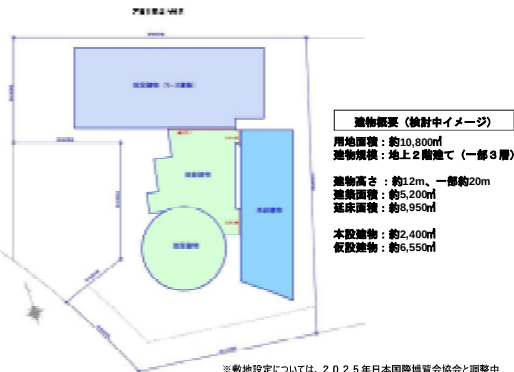
その他自治体パビリオン

熱帯気候施設

音楽館

16

電話：011-2 22 2222，傳真：011-2 22 2222，E-mail：info@ncc.com



※敷地設定については、2025年日本国際博覧会協会と調整中

大阪パビリオンの建築スケジュール

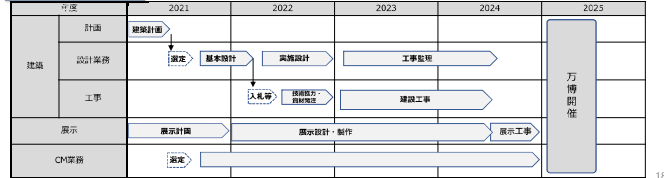
1. 発注手法

- ・万博協会から区画が引き渡される2023年4月以降は、万博会場内の工事ラッシュが見込まれており、かつ、工事の遅滞は許されないため、早い段階での施業集約と契約および4月の工事着手は必須である
- ・大阪の公民の働きを集めた大規模なイベントとなることから想定されることから、長期の建設期間を要するうえ、鋼材の需要の高まりを受け、鉄骨資材や杭の調達に期間を要する。そのため、通常の発注方式では4月の着手ができず、契約を6カ月前倒しする必要がある

※ECI方式は、設計段階から施工者が関与する方式で、今回採用する技術調査・能力共有の 部分設計から概算入交渉者まである程度予定者と技術協力企業の契約を締結し、その契約に基づき実施する。これにより技術協力企業と設計者との関係強化や設計者との交渉の円滑化が図られ、設計者から施工者の契約締結が容易となる。また、設計者から施工者の契約締結が容易となる。また、設計者から施工者の契約締結が容易となる。

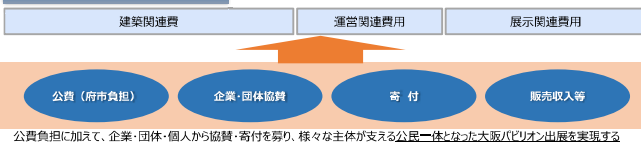
※CM業務とはコンストラクション・マネジャーが中立性を保ちつつ発注者の側に立って、設計・発注・施工の各段階において、設計の検討や工事発注方式の検討、工程管理、品質管理、コスト管理などの技術的な各種マネジメント業務を行うもの

2. 建築スケジュール



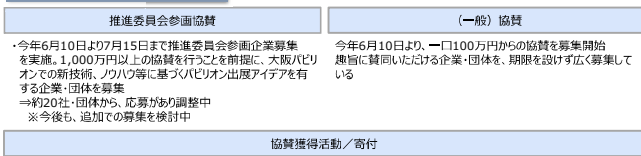
大阪パビリオンの建設・運営資金について

1. 大阪パビリオンの財務構成イメージ



公費負担に加えて、企業・団体・個人から協賛・寄付を募り、様々な主体が支える公民一体となった大坂バビリオン出展を実現する

2. 協賛活動について

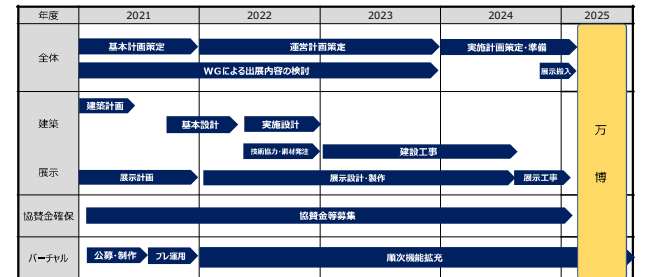


協賛活動業務協力者を募集のうえ委託により大口協賛の獲得活動を行っていく
個人・企業からの寄付についても、引き続き呼びかけを行う予定

今年11月頃に企業協賛をはじめ資金の状況を精査のうえ、建築規模等を確定していく

大阪パビリオンの全体スケジュール

- パビリオン出展の基本計画については、今年9月には案を公表し年度内に策定。来年度から、施設運営や管理、広報PRローション、催事などの運営計画の策定に取り組み、WGでの出展内容の検討は継続して実施。具体化に向けて詳細を詰めていく
- 建物建設については、今年9月の出展基本計画において建築計画を公表後、速やかに基本設計に着手し、2023年4月の工事着工・2024年10月の完成をめざす
- 建設・運営資金を確保するため、継続的に協賛金等の募集に努める
- パチャル展示については、公編・制作を経て、今年11月から先述する。来年度以降、順次機能を拡充していく



2025年大阪・関西万博に向けた取り組み

14

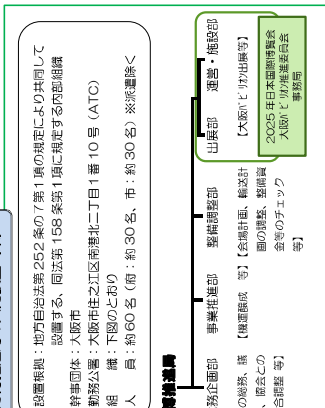


2025年大阪・関西万博に向けた取り組み

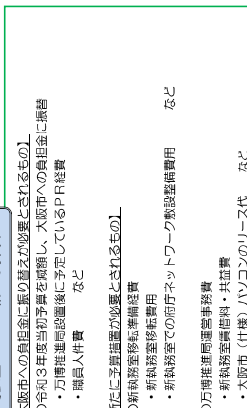
10

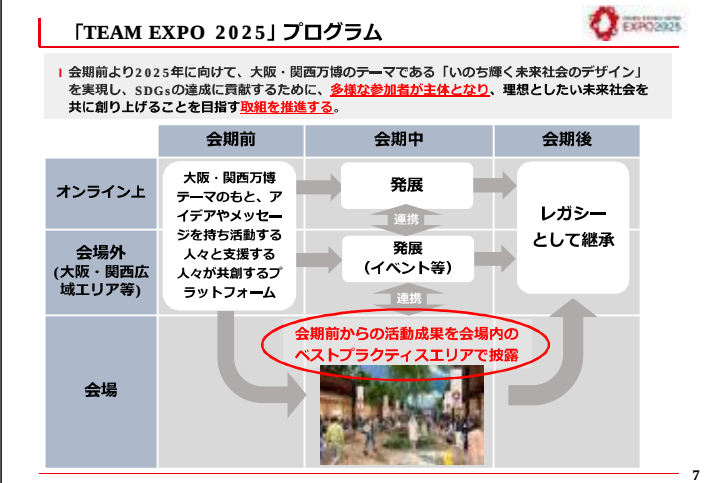
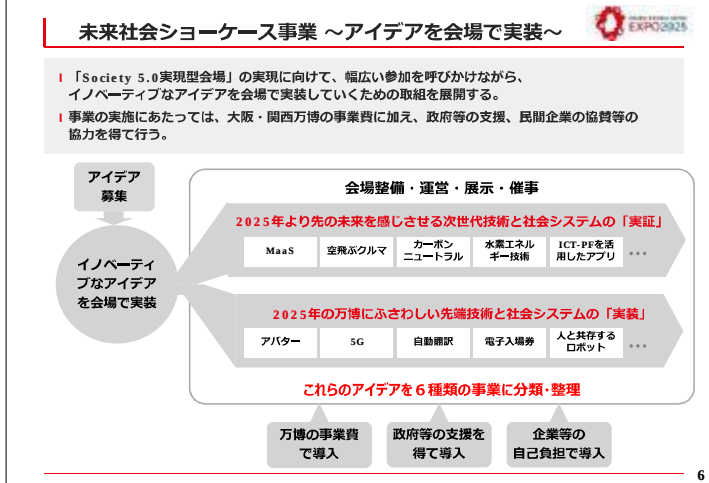
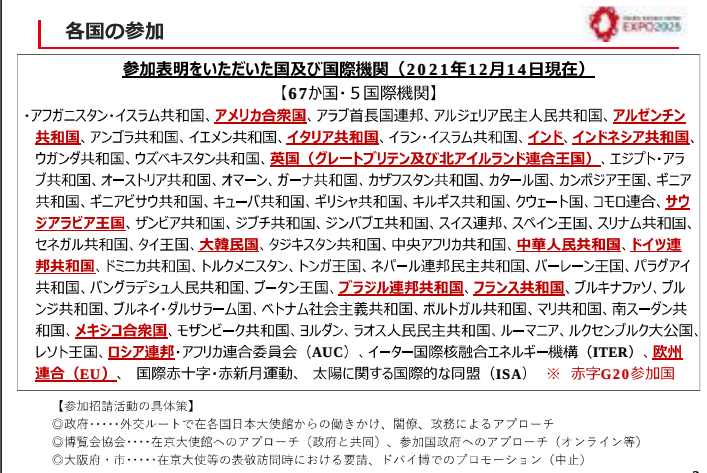


(4) 鐵路回生の呵刺排撃上



局設置にかかる補正予算項目





企業・団体等の参加 ～多様な参加形態～

- 企業・団体等はともにテーマの実現をめざすパートナー。大阪・関西万博では、これまでの万博よりも幅広い、多様な参加形態を用意。
- パビリオン出展、テーマ事業協賛、未来社会ショーケース事業参加、「TEAM EXPO 2025」プログラム参加、催事参加、営業参加、会場建設費等への寄附等

パビリオン出展 万博のテーマに沿って自由な発想で独自に企画・出展する参加 敷地面積約3,500㎡ 9区画	テーマ事業協賛 8名のプロデューサーが企画するテーマ事業に協賛社として参加 資金 施設・物品・役務提供	未来社会ショーケース 事業出展 会場内で未来社会の実証・実装やテーマを具現化する展示を行う参加 事業出展 資金・施設・物品・役務提供		
会場整備参加 運営参加 施設・物品 ・役務提供	TEAM EXPO 2025 参加 共創チャレンジ 共創パートナー	催事参加 資金・施設・物品 ・役務提供	営業参加 営業施設出店 ライセンスビジネス	万博応援参加 広報・プロモーション 指定寄附

8

公式キャラクターデザイン公募

公式ロゴマークに続く、もうひとつの大阪・関西万博のシンボルとして、世界から愛され、親しみを持たれるキャラクターを決定します

応募受付期間

2021年11月1日（月） 正午12:00から

2021年12月1日（水） 正午12:00まで

選考委員会

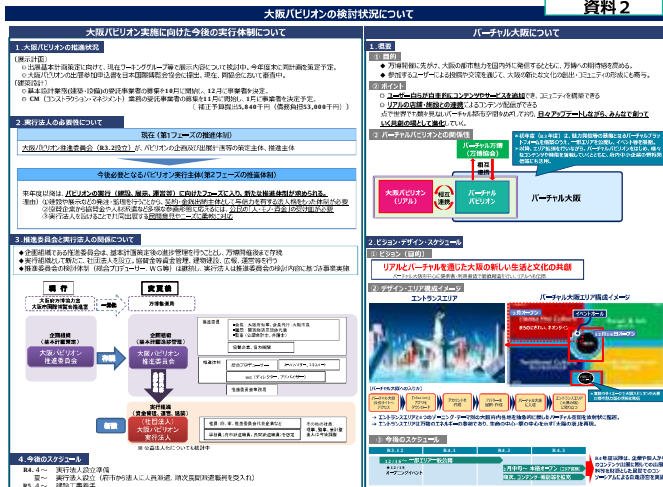
井口 龍太	夏森 精一	島山 陽二郎
石川 和子	シマダ タモツ	志賀 邦二
江口 あつみ	五月 文子	守屋 真行
	中川 翔子	



2022年春頃、発表予定

9

資料2



資料3

大阪・関西万博に向けた取り組み



1

万博関連事業計画（インフラ整備計画）の概要（令和3年8月）

- 今年8月、国において、「大阪・関西万博に関連するインフラ整備計画」が策定
- 万博開催に向け、国とも連携しながら、会場周辺のインフラ整備、会場へのアクセス向上などに取り組んでいく

主な事業

(1) 会場周辺のインフラ整備

- ・街道や道路、主要ルートとなる高速道路や鉄道の強化
- ・道路や鉄道の安全確保の整備やバリアフリー化 など

(2) 会場へのアクセスの向上

- ・街道や道路、主要ルートとなる高速道路や鉄道の強化
- ・主要ルートに接続する道路などの機能強化
- ・道路や鉄道の安全確保の整備やバリアフリー化 など

(3) 安全性の向上

- ・施設の警備や防犯設備等の整備
- ・アクセスルート上の安全性確保 など

(4) にぎわい・魅力の向上

- ・新たな都市景観の形成や魅力ある公共空間づくりとネットワークの強化 など

(5) 広域的な交通インフラの整備

- ・関西圏の環状高速道路ネットワークの形成
- ・奈良、新大阪、関西3空港への鉄道アクセスの整備 など

2

ドバイ万博ジンパターの開催について

資料4

■ドバイ万博について

- 開催期間：2021年10月1日から2022年3月31日まで
- テーマ：Connecting Minds, Creating the Future（心をつなぎ、未来を創る）
- 参加国：191か国が参加表明済み
- 想定入場者数：約2,500万人
- 主会場：開幕式（10/1）、ジャパパター（12/1）、B&Bター（3/30）、閉幕式（3/31）
- 主会場：政府が主催する文化パター内に、2025年大阪・関西万博ドバイセンターの開業を期して建設するゾーンを開設

■ジンパターについて

- ジャパパター：会場内、各参加国の参加国を称えるナショナルターが開演、日本は12/1（土）に実施。
- ジャパパターの主役は、日本とUAEの代表団が参加。
- 公式式典（主催：ドバイ公使）
- ドバイ万博公使主催のもと、日本とUAEの代表団が参加。
- 国際関係、日本、UAE代表によるスピーチに続き、ウラルムン儀事で披露する和太鼓演奏や合気道の演武、ドバイ日本人学校の生徒による南中ソーランなど、日本の多様な文化を紹介するパフォーマンスを実施。
- ウラルムン儀事（主催：経産省・JETRO）
- 万博会場内のテーマで、日本を表現する様々なイベントで会場を彩ります。
- 2020年大阪・和太鼓 / Sum Plaza / 南中ソーラン / Earth Plaza / 合気道 / Sea Plaza：水着大会と演武
- ジャパパター（ドバイ）～2025年大阪・関西万博～（主催：経産省・JETRO）
- 日本舞踊パフォーマンスを用いたファンダンゴと、和太鼓、合気道、演武などジャパパターを盛り上げパフォーマンス、日本らしい気分に身をまかせ会場内を行進し、2025年「大阪・関西万博」の開催地である日本の豊かな魅力が表現。

公式式典の様子

和太鼓

合気道

南中ソーラン

ジャパパターの様子

ウラルムン儀事の様子

資料



大阪・関西万博の成功に向けた 機運醸成アクションプラン(ver1.0)

2022年4月
大阪府・大阪市 万博推進局

目次

1. 基本的な考え方(策定の趣旨)
2. 現状と課題
3. 今後の取組方向と目標
4. 大阪府・市の役割
5. 2022年度取組内容(万博の機運醸成の取組み)
6. 2022年度の実施スケジュール

1. 基本的な考え方(策定の趣旨)

策定の趣旨

- 大阪・関西万博の開催まで3年を切った。今後、会場周辺のインフラ整備や交通アクセスの向上、機運醸成、大阪パビリオンの出展準備など、様々な取組みを急ピッチで進めていく必要。
- とりわけ、機運醸成については、今年7月には開催1000日前という節目のタイミングを迎えるとともに、来年度には入場券の発売準備を控えているなど、重点的に取り組んでいく局面に立っている。
- 言うまでもなく、万博の成功に向けては、全国的な認知度をさらに向上させ、一人でも多くの人に万博に対する興味や関心、期待感を高めていただくことが重要。
- そこで、開催3年前を切ったこのタイミングで、機運醸成の取組みを本格化させていくため、「大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成アクションプラン(ver1.0)」をとりまとめることとする。
これに基づき、博覧会協会をはじめ関係機関(都道府県、市町村、経済界等)との連携を深め、協力を得ながら、府内外をターゲットに万博機運を盛り上げていく。
- なお、機運醸成については、博覧会協会と一体的に進めていくが、現在、協会において「(仮称)広報・プロモーションマスタープラン」を策定中。今後、その内容を見極めながら、必要に応じて本プランに反映させていくことから、現時点では「ver1.0」としてとりまとめることとした。

2. 現状と課題

現状



- 「万博の認知度」は府内では90%超と高い水準だが、府外の認知度は60%程度と低く、府内外で約30ptの差。
- 「テーマの認知度」や「万博への興味・関心度」等については、府内でも40～60%程度。

課題

- ・ 大阪府外での認知度が府内と比べ低い。
- ・ 府内でもテーマの認知度や万博への興味・関心度等が低い。

全国的に万博への認知度をさらに上昇させ、一人でも多くの方々に万博に対する興味や関心、期待感を高めていただくことが、万博の成功の鍵。

3. 今後の取組方向と目標

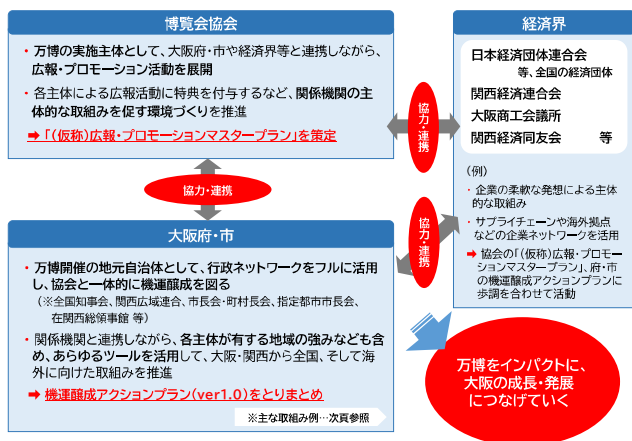
- ・ 博覧会協会をはじめ、関係機関(都道府県・市町村・経済界等)と連携しながら、府内外に向けて広報やプロモーション活動を展開
- ・ 各主体が有する地域の強みや企業の海外拠点など、あらゆるツール・ネットワークを活用し、大阪・関西から全国、ひいては海外へと機運を盛り上げていく
- ・ 開催都市として、まずは府内の機運を高めていく

- 【進め方】「2025大阪・関西万博推進本部」のもと、全庁で一丸となって取り組む
- ・ アンケート調査等を活用し、機運醸成の進捗管理を実施
 - ・ 各部署・区役所等が、様々な機会を通じて、主体的に機運醸成の取組みを展開

目標設定

- ・ 機運醸成にあたっては、2025年まで各年度に数値目標を設定し、進捗を管理する。
(数値目標については、今後協会が策定する「(仮称)広報・プロモーションマスタープラン」を踏まえ、設定を検討。)

4. 大阪府・市の役割(イメージ)



5. 2022年度取組内容(万博の機運醸成の取組み) 1/7

2022年度の方針

開催1000日前(7月18日)などの節目のタイミングをとらえて、人々の記憶に残るインパクトのあるイベントの開催など、以下の柱を中心としたPR活動を本格展開していく。

- (1)府・市の取組み(行政ネットワークの活用した取組み)
 - ①広くPRを図るもの
 - ②府民・市民参加型の仕掛けによりPRするもの
- (2)経済団体・企業等と協力・連携した取組み

(1)府・市の取組み(行政ネットワークを活用した取組み)

① 広くPRを図るもの

府・市、府内市町村の庁舎内や公共施設等への装飾

大阪府・大阪市の庁舎内に、パネルやタペストリー等の装飾を実施。また、府内市町村をはじめ、関係機関に対し、カウンタートップボードや、ロゴをデザインした下水マンホール蓋の設置、デジタルサイネージでの動画放映、のぼり等の装飾への協力を働きかけ。



公共車等を活用したPR

- ・ 府・市関係部局や府内市町村等の公用車にロゴマークを活用したマグネットシート等を貼り付け、大阪全域でOPRを実施。
- ・ EV/バス・FC/バスやUDタクシーの導入費用補助の対象事業者の協力によるPR。



タクシーへのステッカー貼付(イメージ)

5. 2022年度取組内容(万博の機運醸成の取組み) 2/7

府・市が有する様々なPRツール等を活用した発信

- ・ あらゆる機会を活用し、チラシやポスター、ピンバッジ、エコバッグ、衛生用品等のPRグッズの配布や掲示等を実施。
- ・ 職員の名刺や、各所属で印刷する冊子・広報物へのロゴマーク掲載、自治体広報紙や使用水量等のお知らせ票などの住民向け配布物を活用したPRの実施。



使用水量等のお知らせ票への万博ロゴマークの掲載

府・市関係部局が実施する万博関連事業と連携したPR

- ・ 関係部局において実施する万博関連事業等と連携したPRの実施。

【大阪府・市の関係部局での主な取組み例】

府・市の関係部局	事業内容等
大阪府 商工労働部 大阪市 経済戦略局	「空飛ぶクルマ」の実証実験支援等を通じた社会受容性の向上や万博の機運醸成。 商店街や店舗の魅力を発信するポータルサイトや、府内・市内の商店街におけるタペストリー、のぼり等の掲出を通じて万博の機運醸成を図るPRの実施
大阪府 環境農林水産部 大阪市 環境局	「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に向けたプラスチックごみ削減の取組みを通じた万博テーマのPR
大阪府 健康医療部	府内主要駅等で「健活10」の広告ジャックを実施
大阪府 教育庁 大阪市 教育委員会	博覧会協会が作成した教育プログラムの活用による府内・市内小中学校における万博やSDGs学習

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 3/7

1 庁内各部署・府内市町村等主催の集客イベントへのブース出展

- 大阪府・市の関係部局や、府内市町村等において実施される集客イベントやフォーラム等に万博ブースの出展やグッズ配布等を行い、イベントへ参加する多くの方々へPRを実施。

【大阪府・市の関係部局主催イベントへの出展例】

府・市の関係部局	開催日	イベント名
大阪府 政策企画部	4月29日 ~5月1日	Warai Mirai Fes 2022 Read to EXPO 2025
大阪府 府民文化部 大阪府 経済戦略局 大阪府・市万博推進局	4月19日 ~5月15日	2025大阪・関西万博に向けて めざそう「10歳若返り」展示
大阪府 府民文化部 大阪府 経済戦略局	秋頃	御堂筋オールドパーティー2022
大阪府 経済戦略局	10月15日~ 10月23日	大阪城天守閣 復興90周年記念イベント
大阪府 環境農林水産部	10月23日(予定)	魚庭(なまの)の海づくり大会
大阪府 教育庁	2月12日	ワウワドキドキSDGs ジュニアフォーラム
大阪府 環境局	10月8日(予定)	ごみ減量フェスティバル
大阪府 建設局	11月12日(予定)	ECO緑日2022
大阪府 建設局	11月5日、6日	はなまんまん2022
大阪府 消防局	1月(予定)	消防出初式



花博大阪・関西万博記念イベントのブース出展(2022年10月9日)



大阪府・市万博推進局のブース出展(2022年10月9日)

【府内市町村主催イベントの出展】

- 府内7地域(三島、豊能、北河内、中河内、南河内、泉北、泉南)ごとに、概ね1万人以上の集客が見込まれるイベントを中心に、適宜出展予定。
- なお、大阪市各区での開催イベントにも適宜出展を予定。

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 5/7

(1) 府・市の取組み(行政ネットワークの活用した取組み)

② 府民・市民参加型の仕掛けによりPRするもの

1 パーチャル大阪を活用したPRの実施

- バーチャル大阪やYouTube等において、若者をはじめ多数の方の視聴を期待できるコンテンツを制作・提供。(例:人気YouTuberを活用した音楽ライブやトークイベント、万博会場となる夢洲の360度映像の放映等)。
- アバターとして各自が参加することで、楽しみながら万博の理解を深める。



「バーチャル大阪」のオープニングイベント(2022年12月19日)

2 SNSやHPを活用した情報発信

- イベント等の実施時など、タイムリーにTwitter等のSNSやHPを活用して情報発信を実施。
- 府民・市民をインフルエンサーと見立てて、府内市町村との連携イベント等での万博PRブースの出展時に、訪れた方々自らSNSで情報発信を行っていただく。



大阪府Twitterを活用した広報

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 7/7

(2) 経済団体・企業等との協力・連携

1 公共交通機関等への働きかけ

- 公共交通機関等(電車、バス、タクシー、トラックなど)の車両装飾や車内広告、主要駅・空港でのポスターやデジタルサイネージ等の実施に向け、博覧会協会と連携して、事業者への協力を要請。



ラッピングトラック(イメージ)

2 シティドレッシング

- 多くの方々の目に触れる屋内外の様々な場所において、ポスターやのぼり、街頭パナーの掲出、デジタルサイネージを活用したPR動画の放映など、各施設を管理する関係機関に対し、博覧会協会と連携し、効果的なタイミングで協力を要請。



ATCデジタルサイネージを活用したPR

3 ロゴマーク等の商用利用の促進

- 博覧会協会におけるライセンス事業開始にあわせ、企業によるロゴマーク等の商用利用を促進。

4 経済団体、企業等によるPR

- 経済団体や、府・市の包括連携協定締結企業をはじめとする各種企業が有する様々なPRツールやネットワーク等の活用に向けて、働きかけを実施。
- (主な取組みイメージ)
 - 企業広報誌や広告、パンフレット等へのPR記事の掲載
 - 各企業や団体等のHPやSNS等でPR
 - 大規模集客イベント等の場を活用したPR
 - 企業の海外支店等を通じた情報発信等

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 4/7

1 府内市町村や関西広域連合、全国知事会等によるPR

- 大阪、関西、全国、海外に向けたPRを実施できるよう、博覧会協会と連携を取りながら、関係機関が有する様々なPRツールやネットワーク等の活用に向けて、働きかけを実施。

【関係機関等による主な取組みイメージ】

連携先	取組みイメージ
府内市町村	・講演会や集団検診等で府民・市民が訪れるタイミングでチラシの配架 ・庁舎内や道の駅など府民・市民が訪れる場所へののぼりやチラシなどを設置 ・庁舎内のデジタルサイネージ等を活用して、PR動画を放映 ・市町村で発行する広報紙等の啓発物や公用封筒、各種PRグッズ等に万博のロゴ等を掲載 ・市町村の有するHPやSNS等での配信
関西広域連合 全国知事会等	・各自治体で発行する広報紙等の啓発物等へのPR記事の掲載 ・各自治体が所管する公共施設等におけるPRツールの設置
大阪観光局	・大阪への国内／海外旅行客向け誘客の取組みと連携したPR
国、政府機関等	・国やJETRO(日本貿易振興機構)等を通じて海外向けのPR ・国際会議や駐日大使等の表敬訪問時を捉えたPR

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 6/7

1 「万博の桜2025」の取組みの加速化

- 万博の機運醸成を図るため、多くの方々からの寄付(1口1万円)をもとに、2025本の桜を植樹し、記念に寄附者のネームプレートを設置(2020年4月〜)。
- これまで同様、様々なPRツールで幅広く寄附の募集を呼びかけるとともに、企業等への積極的な働きかけを実施。加えて、植樹の様子や場所、寄附金額の進捗状況などをタイムリーにHPやSNS等で発信。



「万博の桜2025」チラシ

2 万博の開催意義やテーマ等の理解促進

- 万博の開催意義やテーマ等の理解促進につなげていくため、大阪・関西万博に関連する講演やパネルディスカッションなどを実施。
- 万博のテーマ等を大人から子どもまでわかりやすく伝えるプロモーション動画を作成し、府・市の庁舎や市町村のイベント等で放映。
- 加えて、児童・生徒向けのポスターや高校生用の冊子を作成・配布。



2025大阪・関西万博「万博の桜2025」パネルディスカッション(2022年2月21日)

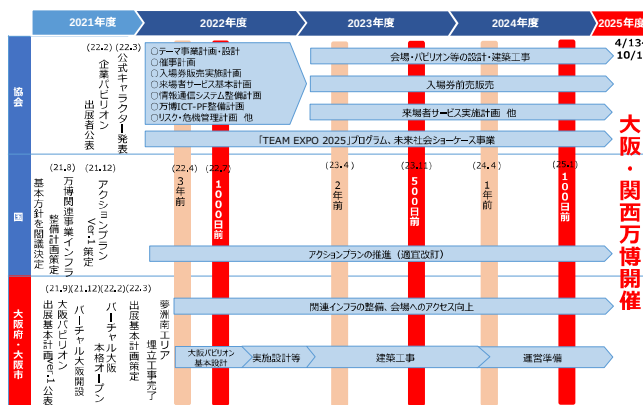
6. 2022年度の実施スケジュール(予定)

コロナ感染拡大の状況等を見極めつつ、まずは1000日前(7/18)など節目のタイミングにおいて、関係機関と連携した取組みを展開。

	2022年度上半期	2022年度下半期
協会	●O3年時イベント(4月)	●1000日前イベント(7月) ○テーマリング第一弾の発表
大阪府・大阪府	●ライセンス事業開始 ○ロゴマーク・キャラクター等の活用	●ライセンス事業開始 ○ロゴマーク・キャラクター等の活用
大阪府・大阪府	●協会との連携イベント ●庁舎内・公共施設等の装飾 ●公共施設等を活用したPR ●公共交通機関等への働きかけ ●シティドレッシング	○プロモーション動画、冊子の作成 ○講演会等の開催
大阪府・大阪府	○「万博の桜2025」の取組の加速化 ○バーチャル大阪を活用したPR実施 ○SNSやHP、PRツールを活用した情報発信	○「万博の桜2025」の取組の加速化 ○バーチャル大阪を活用したPR実施 ○SNSやHP、PRツールを活用した情報発信
大阪府・大阪府	【関係機関実施の主な万博関連事業】 ●「万博10」×「万博」広告ジャック	○「万博10」×「万博」広告ジャック
大阪府・大阪府	【主なイベントへのブース出展】 ○「Warai Mirai Fes」 ○「10歳若返り展示」	○大阪城天守閣復興90周年記念イベント ○「御堂筋オールドパーティー」 ○「ワウワドキドキSDGsジュニアフォーラム」
大阪府・大阪府	○府内市町村・関西広域連合や全国知事会、経済団体等によるPR	○府内市町村・関西広域連合や全国知事会、経済団体等によるPR

※上記以外にも万博機運の盛り上げにつながる広報・プロモーション活動を適宜実施。

(参考) 2025年までのスケジュールイメージ(全体像)





OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025

2025年日本国際博覧会
(大阪・関西万博) について

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 12月5日

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 概要①			
● 役員構成：（2022年12月1日現在/敬称略）			
会 長	（代表理事） 十倉 雅和	一般社団法人日本経済団体連合会会長	
事務総長	（代表理事） 石毛 博行	前独立行政法人日本貿易振興機構理事長	
副会長	（代表理事） 松本 正義	公益社団法人関西経済連合会会長	岸井 信吾 東京西工会連合会連合会長、大阪商工会議所連合会
生 産	小川 雅之	一般社団法人関西経済連合会代表理事	井上 雅文 日本商工会議所会長
		※	※ 日本商工会議所会副会長
福田 謙彦	公益社団法人経済同友会代表理事	西村 淳文 大阪府知事	
松井 一郎	大阪市市長	関西広域連合会長	
熊野 敏	公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 経費委員会委員長	浅川 昭彦 日本科学未来館 館長、JIBFA CEO	
理事	ウズベ・サリ 首都経済大学 理事長/金沢経済機構 入居連携デザインプログラム 教授 ※12月の役員総会で選任予定		
小池 善好	東京大学名誉教授、元副学長、一般財団法人文化芸術政策推進センター 所長		
小川 健二	小川建設グループ 代表取締役社長 参事 関西渉外、万葉博覧会（兼）テクニクスプラント事業担当		
（ローク） キンベル	早稲田大学 特別教授		
奥平 康寿雄	株式会社三井人経同友会 副代表理事、株式会社協誠総合研究所 代表取締役副会長		
佐野 隆典子	京都大学大大学院経済学専攻 教授		
長尾 隆代	株式会社ビジョンシア 代表取締役専務		
岡田 祐子	一般社団法人日本経済同友会連合会 常務議員会副会長、株式会社コングレ 代表取締役社長		
市川 正代子	アート・エシエンター株式会社 名誉会長		
杉浦 幸子	国立大学法人京都大学 理学院		
長谷川 貴博子	国立大学法人、総合研究大学院大学 学長		
森田 文子	大阪府立大学 非常勤講師、女性会会長、株式会社広瀬制作所 代表取締役副社長		
フナリー子	一般社団法人和歌山県商工会 常任幹事、大門町事務所 代表、代表取締役社長		
阪本 七由	サントリーホールディングス株式会社 顧問 CSRアドバイザー 公益財団法人サントリー芸術財団 専務理事		
御波 瑞子	株式会社松島信託フィナンシャルグループ 代表取締役社長		
芳沢 淳子	日本労働組合総連合会 会長		
新事務総長（理事）	長村 淳子 前内閣府大臣官房秘書官兼世帯本部事務局次長		
	栗川 洋正 阪近産業株式会社執行役員		
	津内 康行 前大阪府知事		
	松 野郎 前公益社団法人関西経済連合会常務理事		
監事	小関 正樹 公認会計士法人税務事務所 代表取締役主事	中野 裕之 中野公認会計士・税理士事務所所長、公認会計士・税理士	

万博の主要な担い手		プロデューサー		テーマ事業 プロデューサー	
会場デザイン プロデューサー	会場運営 プロデューサー	富田 裕章 関西商業大学校 副学長兼入学生課長	石黒 浩 独立行政法人 NPO法政大学理事長兼事務局長	中島 さち子 株式会社有明 STEAM教育室長	落合 陽一 メディアアーティスト
					
藤本 壮介 建築家	布施 隆一 プリンス・アカデミー	「いのちを繋ぎ合わせる」	「いのちを結びつける」	「いのちを築く」	「いのちを広げる」
協賛企業 プロデューサー		福岡 伸一 生物学者、 西宮市立大学教授	河森 正治 アニメーション作家、 ミュージックライター	小山 薫堂 放送作家、 京都府立大学副学長	河津 直美 放送作家
小嶋 真児 フリスティックルーパー					
		「いのちを知る」	「いのちを育む」	「いのちをつくる」	「いのちを守る」

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催概要	
- 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体现する様々な参加形態や事業、会場のデザインを含む会場計画、運営計画、資金計画等をまとめた協会のマスタープラン「基本計画」を2020年12月25日策定・公表 - 基本計画に基づき、参加国、国際機関への招請活動や企業・団体・自治体・市民団体等の参加と共創を促進するとともに、各事業の実施計画の策定や具体的な取り組みを推進	
	
開催概要	
名 称	2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	People's Living Lab（未来社会の実験場）
会 場	夢洲（ゆめしま）（大阪市此花区）
開催期間	2025年4月13日～10月13日
想定来場者数	約2,820万人

これまでの取り組みと今後のスケジュール

2020年 万博の基礎をつくる	2021年 備えかけと具体化	2022年	2023年	2024年	2026年
7/13 8/25 9/16 12/1 12/21 フロアデザイナーの選定 ロゴマークの決定 博覧会推進本部が発足（国） BIE総会（登録申請書の承認） 基本方針を閣議決定（国）	8/19 9月-10月 出展参加説明会 基本計画説明会 基本計画 策定・公表（協会）	12/25 3/4 アクションプラン策定（国） 民間パビリオン出展募集 開幕時の姿を意識した準備に着手	IPMの開催、公式参加者用宿舎の確保 各国の参加企業への機運高の上げ	4月13日～10月13日 大阪・関西万博 開催	前売り入場券販売開始 パビリオン敷地引渡し・会場建設開始

下部写真：上段は「日本万国博覧会」のロゴと「万博」の文字。下段は「大阪・関西万博」のロゴと「万博」の文字。

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 概要②

【事務局組織図】

2019年1月30日
法人設立

2019年4月19日
万博特別措置法成立

2019年5月31日
経済産業大臣が当協会を博覧会
業務を行う法人に指定

2019年10月21日
内閣府より公益認定を受け、
「公益社団法人」になる

シニアアドバイザー

● 協会における重要課題や専門の事項について、専門知識や技術、経験等を有する方から助言を受けるため、シニアアドバイザーを設置

 安藤 忠雄 建築家 photo by 星野玲奈	 池坊 勇好 中道家元・花術 次期家元	 大崎 洋 市本細道ホール ディングス株式会社 代表取締役常務会長	 桂 文枝 落語家 (五十音順・敬称略)
 河瀬 直美 映画監督 OLESLIE KEE	 ロバート キャンベル 早稲田大学特命教授	 コシノ ジュンコ デザイナー	 五神 真 東京大学大学院 理学系研究科 教授
 ウスビ・サコ 京都府立大学 前学長 / 全学研究所 所長 入部 副所長 デザイン・プログラム 教授	 千 家憲 茶道裏千家家元	 西尾 章治郎 大阪大学助教	 宮田 亮平 主工作家
 山極 壽一 総合地球環境学 研究所長	 山崎 直子 宇宙飛行士 ©NASA	 吉田 憲司 国立民族学博物館長	

会場デザイン① ～世界とつながる海と空に囲まれた万博～

- 四方を海に囲まれた会場ロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」に囲まれた万博としての会場デザイン及び企画などを実施。
- 「非中心・離散」の理念によって多様性を鼓舞し、そこに「つながり」を重ね合わせた「多様でありながら、ひとつ」をデザイン。

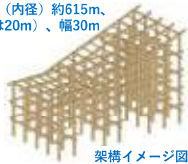


8

会場デザイン② ～大屋根（リング）～



円周約2km、直径（内径）約615m、
高さ12m（外側は20m）、幅30m



架構イメージ図

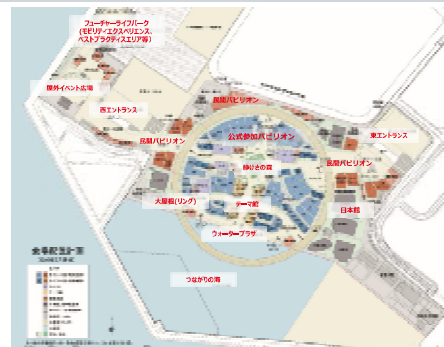
リング1F：グラウンドウォーク



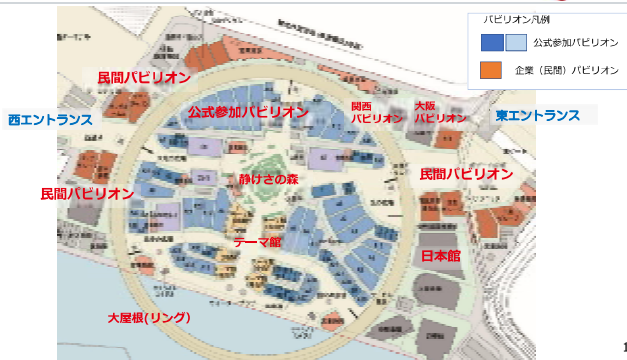
リング2F：スカイウォーク



会場レイアウト①（会場予定地 約155ha）



会場レイアウト② パビリオン



公式参加パビリオン

- 大阪・関西万博の3つのサブテーマを通じて、テーマの実現を目指す。
- 世界各国の公式参加者（参加国や国際機関）は、それぞれの立場からSDGs達成に向けた優れた取り組みを持ち寄り、会場全体でSDGsが達成された未来社会の姿を描く。

サブテーマ 一つ以上を達成	公式参加パビリオンのテーマ実現のトピック例	SDGs 17のゴール 一つ以上に寄り結び
Saving Lives (いのちを救う)	主命の健康、健康寿命の延伸、ライフサイエンス、医療機器の改良（精神）の健康、季節と気候、貧困、貧困削減の削減、児童死亡率の削減等	
Empowering Lives (いのちに力を与える)	自己実現、ファッション、文化、芸術、スポーツ、学術、産業振興、エンジェル投資等	
Connecting Lives (いのちをつなぐ)	デジタル活用、地球規模を連携した行動、気候変動への対応等	

150の国及び25の国際機関の参加を目指す

企業・団体等の参加 ～多様な参加形態を用意～

- 企業・団体等とともにテーマの実現をめざすパートナー。大阪・関西万博では、これまでの万博よりも幅広い、多様な参加形態を用意。
- パビリオン出展、テーマ事業協賛、未来社会ショーケース事業参加、「TEAM EXPO 2025」プログラム参加、催事参加、営業参加、会場建設費等への寄附等

パビリオン出展 万博のテーマに沿って自由な発想で独自に企画・出展する参加 募集終了	テーマ事業協賛 8名のプロデューサーが企画するテーマ事業に協賛社として参加 資金 施設・物品・役務提供	未来社会ショーケース事業出展 会場内で未来社会の実証・実装やテーマを具現化する展示を行う参加 事業出展 資金・施設・物品・役務提供		
会場整備参加 運営参加 施設・物品 ・役務提供	TEAM EXPO 2025 参加 共創チャレンジ 共創パートナー	催事参加 資金・施設・物品 ・役務提供	営業参加 営業施設出店 ライセンスビジネス	万博応援参加 広報・イメージ 寄附

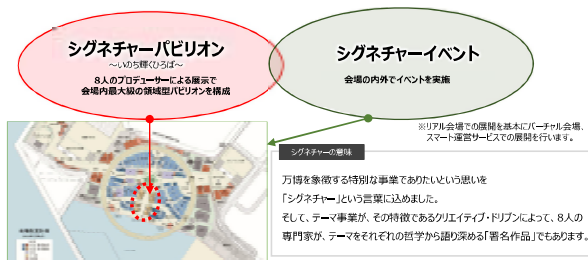
民間パビリオン出展者が構想概要を発表(2022.5.30)

- (五十音順)
- ・飯田グループホールディングス株式会社
 - ・住友EXPO2025推進委員会
 - ・特定非営利活動法人ゼ・ジャパン
 - ・玉山デジタルテック株式会社
 - ・電気事業連合会
 - ・一般社団法人日本ガス協会
 - ・日本電信電話株式会社
 - ・株式会社バンダイナムコホールディングス
 - ・株式会社パナグループ
 - ・パナソニックホールディングス株式会社
 - ・三菱大阪・関西万博総合委員会
 - ・吉本興業ホールディングス株式会社



テーマ事業の概要

テーマ事業名称	いのちの輝きプロジェクト
テーマ事業の構成	「いのちの輝き」を語り、深め、未来に残すことを象徴するパビリオンとイベントで構成する



テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」のコンセプト・展示イメージ



大阪・関西万博テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」基本計画を4月18日に発表

資 料

2025年大阪・関西万博推進特別委員会 報告書（構成案）

〇はじめに

1 委員会の概要

- （１）委員会の設置目的
- （２）調査検討項目
- （３）運営方法

2 審議経過

3 審議概要

4 主な提言・提案等のとりまとめ

5 委員会設置要綱

6 委員名簿